

希 望 の 大 地 の 戯 曲

北海道戯曲賞

平成29年度受賞作品集



主 催／公益財団法人北海道文化財団
後 援／北海道 協 力／日本劇作家協会北海道支部

希 望 の 大 地 の 戯 曲

北海道戯曲賞

平成29年度受賞作品集



主 催／公益財団法人北海道文化財団
後 援／北海道 協 力／日本劇作家協会北海道支部

目次

■大賞

「動く物」

作・本橋 龍

1

■優秀賞

「10分間〜タイムリープが止まらない〜」

作・中野 守

29

選 評

96

平成29年度 希望の大地の戯曲「北海道戯曲賞」の概要

106

大賞

動く物

本橋 龍

登場人物

♀ マミ……ムジナの彼女。社会人。

♂ ムジナ……マミの彼氏。フリーター。

あらすじ

ムジナとマミは一匹のペット「ミチヨシ」と共に同棲している。

ミチヨシは元々ムジナが連れてきたのだが、

ムジナは世話を疎かにしていてマミはそれが気に食わなかった。

ミチヨシが病気で手術に大金がかかると判明したのだが、

ムジナは手術させない気だったらしい。

それが下で喧嘩になる。

翌日目覚めるとミチヨシが脱走していた。

二人で散らかった部屋を探していると、昔仕掛けたゴキブリホイホイ、芽が伸びてしまったジャガイモなど色々なものが出てくる。

その中、ムジナはマミが隠していたあるものを見つけてしまう。

六畳位の部屋。ベット、床に布団、ちゃぶ台、ちょっとした棚、机、段ボール等、出入口、そして水槽がある。中には水は入っていないくて、砂が敷いてあり、小さな家の様なものがある。

客入れ中。早朝、ベットでマミとムジナが寝ている。マミは寝相が悪い。コンボから音楽が流れている。
開演五分前、ムジナはマミにベットから落とされてしまう。ムジナ、コーヒーを入れて飲む。

①

マミが起きる。(が、ほとんど寝ぼけている)

マミ 何時

ムジナ 6時

マミ ……え、夜?

ムジナ 朝の

マミ ……

間

ムジナ ……コーヒー飲む?

マミ ……(首振る)

間

マミ うああ、プリン食べたい、

ムジナ ……

マミ うああ、

ムジナ、プリンとりにいく。

マミ ありがとう、

マミ、音楽を止める。ムジナ、プリンを持って戻ってくる。

マミ なんで起きてんの、

ムジナ なんか。はい(プリンをベットの近くに置く。)

マミ ……

間

ムジナ ……何時頃から行こっか、

マミ ……なに、

ムジナ いや、動物園、

マミ え、行くの？

ムジナ あ、行かない？

マミ ……

ムジナ ……プリン食べないの？

マミ ……(首振る) ……え、何時に行くの？

ムジナ ああ、何時でも、…全然、昼ごろからでも、

マミ ……

ムジナ まあ本当は朝からのがいいけど、まあでも全

マミ 然、

ムジナ 何が？

マミ 、何？

ムジナ 何で朝のがいいの？

ムジナ あ、活発だから。動きが。朝からのがいい動きするよ。

マミ ……

ムジナ あ、動物のね。俺のじゃないよ、

マミ ……

ムジナ まあ、俺もあれだけど、マミは、あんまりいい動きできないでしょ、朝は…

マミ ……

ムジナ あのー、リスの森ってあんじゃん。あそこいつ

も皆寝てんじゃないんマミと行く時。朝行くと皆めっ

ちゃ動いてて。良いんだよね。木の実をね、埋

めてたりすんの。リスって、自分の食べる分よ

り多く木の実をとって、で、埋めて貯蔵しとく

んだって。頭いいんだよ。でもバカだから、頭

いいけどバカだから、埋めた場所忘れちゃうん

だって。でもね、なんか、それが時間立って、

芽吹いて、森になったりするんだって。凄くな

い？そのサイクル、

マミ ……ごめん取り敢えず、寝ていい？一旦、

ムジナ あ、うん、全然、

マミ ……(寝っ転がる)

ムジナ ……ごめん、何時に起きるかだけ決めない？

マミ 適当に起きるよ、

ムジナ ……あの、また、起きたら夕方とかあるかもだか

ら、

マミ ……(面倒くさそうに) 九時に起きるよ、

ムジナ いや、もっとお昼くらいでいいよ、

マミ 何時でもいいよ、

ムジナ じゃあ一時にしょ、

マミ ん、

ムジナ ……プリン食べないの？

マミ 食べるよ！、置いといてよ、

ムジナ いや、温くなっちゃうから、

マミ ほっといてよ！…ごめん、なんか、がつつ

来ないで。頭痛いから、

ムジナ …あ、そ、

マミ …

間。ムジナ、携帯を弄っているが、軽く部屋の片づけを始める。流れてプリンも片づける。マミ、もぞもぞ動く。
ムジナ、大きめの物音を立ててしまう。

マミ 何やってんのっ、

ムジナ …あ、ごめん、…いや、掃除、

マミ なんで今やんの、

ムジナ いや、まあ、気になって、

マミ いつもしないじゃんそんなこと、

ムジナ …、いや、

マミ イラツイラする、もー、

ムジナ …いや、別に、

マミ 寝かせてよー、

ムジナ いや、別に悪いこととしてた訳じゃないんだから、

いいじゃんそんな、

マミ いや、普通に考えて、

ムジナ 気分悪いなあ、

マミ は？いや、私寝てる横でそんな、ごちゃごちゃ

ごちゃごちゃ

静かにやってたじゃん、それは、

いやめっちゃうるさかったから、折角久しぶりの休みで、

いや、

ムジナ

マミ ゆっくりしたいのにこっちは、ムジナくんは毎日

日休みみたいなもんだからいいけど、

だから、ごめんだけどそれは、

…プリンないしっ、

だ、温くなるって言ってんじゃん、(プリン取りに行く)

ほっといてよそんな、

だからごめんだけど、悪気があった訳じゃない

んだから、普通に言えればいいじゃんやめてっ

て、なんで一々、バーンって言うの？そんな、

…そんな風に言ってないから

言ってるじゃんっバーンって(プリンを置いて)、

普通に、やめてねって、優しく言えば止めるの

にそんな、

普通に言ったじゃん、

いきなし怒ってこられたら、こっちだって良い

気しないじゃん、

ママ 普通に言ったじゃん、

ムジナ 言っていないって、めっちゃ、バーンってきた

じゃんなんか、

ママ ……

ムジナ いやうるさくしたのはごめんだけど、

ママ ……頭いた、

ムジナ ……

ママ ほんっと、何時だと思ってんの、てかさ、

またミチヨシに餌あげてなかったでしょ、

ムジナ それ、

ママ 砂の掃除もしてなかったし、

ムジナ だ、…また、そうやって

ママ この間も言ったよね、

ムジナ 自分が勝てる話題に切り替えて、

ママ は？

ムジナ だって今全然違うことで、言ったのにさあ、

その、前のテンション引きずったまま、

ママ 何？

別の話題にすり替えてさ、

ムジナ ……やそういう問題じゃなくて、

いやそういう問題だから、いや悪いけどそれは。

…なんか、俺が、そんな、今のテンション

で言われても反省できない

ママ は？、赤ちゃんかよ、

ムジナ そっちがじゃん、それは、

…どうせまだベットシヨップ連れてってないん

でしょ、診てもらわれないって言ってんのに、

ずっと、

ムジナ ……

ねーミチヨシ、ひどいねー、

…連れてったよ、それは、

…あそう、いつ？

先週、

ふうん、…なんだって？

…なんか、腫瘍だって、あの、口んこの、

…え、

…手術しなきゃだって。病院で、

…あそう、

うん、

…最近めっちゃ元気良かったのに、

…

間

ママ ……え、どうすんの？

ムジナ ……なんか、病院が、専門で見えてくれるところが大阪

にしかないみたいで、なんか、結構お金も掛かるみたいだから、え、いくら位？

マミ

なんか、20万近くとか、

ムジナ

…あー、……え、どうすんの？

マミ

……まあ、いや、……わかんないけど、……

間

マミ

え、病院連れてかないの？

ムジナ

いや、どうしようかなって思ってた、なんか、成功するかも微妙らしくて、

マミ

…え、本気で言ってるの？

ムジナ

…本気っていうか、あれだけど、

マミ

……最低だね、

ムジナ

…いや、最低って、

マミ

最低でしょだって、

ムジナ

だって、そりゃあ、なんとかしたいけど、20

万って、

マミ

お金の問題じゃないでしょ、

ムジナ

そうだけど、こっちの生活もあるんだから、

マミ

悪魔

ムジナ

…は、や、

マミ

…命をさあ、命だよだって、勝手に買ってきてさあ、飽きて世話とかできとうにやって。それでさ、見殺しにするんでしょ挙句。人間じゃねーよそんなの、悪魔だ

ムジナ

…そんな、

マミ

ミチヨシの立場になってみろよ、

ムジナ

……ミチヨシは、解んないんじゃないの？

マミ

は？

間

ムジナ

リュックを背負ったり着替えたり。

マミ

……えどこ行くの？

ムジナ

…どっか、

マミ

…そうやって、直ぐ逃げんじゃん、

ムジナ

…

マミ

ねえ、

ムジナ

…シカトしないでくんない？

マミ

(玄関に向かう)

ムジナ

ちょっと待てよ、ねえ、(肩なんか掴んで止

マミ

め、軽い引っ張り合いになる)、動物園どうす

んの、

ムジナ (ちょっと笑いながら) ちょよ、知らないよ、

マミ 知らないじゃないでしょ、ちょよ、戻って、

ムジナ めんどくさいなあ、

マミ は？何様だよ、戻れよ、一回、(強引に戻そうとする)

ムジナ 、、(振りほどくが、マミをフツ飛ばしてしまう)

あ、

マミ ……いった、

ムジナ ……(出てく)

マミ おいっ、

ムジナ、部屋を出て襖を閉める。マミ、少しボーっとしてから、クローゼットから封筒を取り出す。中から何かをとろうとするが、やめて元の場所に戻し、寝っ転がる。水槽の方を見る。

マミ 解らないのかな、

動物園の映像が流れる。

テロップ『1年前、ムジナが急に買ってきたそのものを「ミチヨシ」と名付けたのはマミの方だった、亡くなったお爺ちゃんの名前らしい。』

タイトル。暗転。

②

寝ていたマミが目を覚ます。少しボーっとした後、ミチヨシの水槽が倒れていることに気づく。

マミ ……うわ、

中を覗く。ミチヨシがいない。

マミ え、(辺りを見回し) まじか、……ミチヨシー、

ミチヨシ、、(部屋に対して) きたな、ミチ

ヨシ、ごはんだよー、みっちー、

ムジナが帰って来る。手にはビニール袋。

ムジナ ただいま、

マミ 、閉めて閉めてっ

ムジナ え？

マミ 閉めて、逃げちゃうから、

ムジナ ? (閉める)

マミ 出てかなかった？今、ミチヨシ、

ムジナ え？

マミ 大丈夫？

ムジナ 多分、え、また脱走したん？

マミ うん、なんか、

ムジナ ついこの間もしてたよね、え、どうやって？

マミ わかんない、なんか起きたら倒れてて、水槽が、

ムジナ え、なんで？

マミ だからわかんないって、

ムジナ えー（ビニールを机に置く）わ、どう倒れるのそれ、

マミ なんか普通に。私じゃないからね、普通に寝て

ムジナ いや、別にあれだけど、え、いないの？（水槽を元に戻す）

マミ 解らない、探してるんだけど、

ムジナ マジか、え、いつから？

マミ わかんない、つい、今起きて、そしたらいなくてって感じだから、え、今何時？（携帯探す）

ムジナ 八時、

マミ えもう夜じゃん、え、寝すぎたあ、

ムジナ ……

マミ ……え、どこいったの？

ムジナ 動物園、

マミ ほん、え一人で？

ムジナ うん、

マミ あー、…え、ダサ、

ムジナ ……ああ、

マミ ……あつ、お腹空いた、

ムジナ あ、（机のビニールを指して）食べる？これ、

マミ なに？

ムジナ ……お土産

マミ ……ありがと、（中身を取り出すとちよつとしたスイーツみたいなもの）…甘いものの気分じゃない、

ムジナ い、

ムジナ あ、はい、冷蔵庫いれとくよ、…結局食べてないじゃんこれ、（元からあったプリンと一緒に

冷蔵庫に持っていく。）

二人で探し始める。ムジナはテレビ付近、マミはベット

周辺を探す。

マミ どこにいるかな、

ムジナ 大体いつも、穴的な、筒状のものの中か、あ、

マミ まあでも（テレビを調べる）大体この裏にいる

ムジナ んだよ…

マミ ……

ムジナ ……いないね、…（ゴキブリホイホイを見つけ

ムジナ ……

ムジナ ……

ムジナ ……

て) こんなんあったっけ、

え? (見にきて) …あーなんか、大分前に、

この中にいないかな、

入れる訳ないやん、

(覗いて) うわ、なんか、

え、ゴキブリ?

…ん? なんか、(ホイホイの屋根の部分を開く)

え、

ちよ、いいよ開けないで、

うわ、すげえ、

やーゴキブリ、

と、ヤモリ。

…え、ヤモリ? それ、

珍しいなあ、どっから入ってきたんだろ、

死んでる?

死んでる死んでる、

えー可哀想、

このゴキブリ食べようとして掛かったのかな

あそっか、…えー、(ヤモリに) ごめんねえ…

なんか、これ一つに生態系が、詰まってるね。

あの一、我々も含め。

え?

…: どうしよこれ、ごみ箱?

え、捨てるの、

違うか、

…んー、埋めよ。外に、

…まいいけど、え、ゴキブリは?

ああ、一緒にあれして、なんか、お供え物的な感じで、

…はい、え、どうする、今?

…朝だな、なんか袋とか入れて置いとこ、

…はい、(袋にいれる)

…: あ、そこは? (高いところにある収納スペース)

ス)

あー、(開くが高くて見えない) …: なんか、台

とか、

ちよい、

え?

下、しゃがんで、

ああ、そういう、(しゃがむ) え、どういく?

(背中乗ろうとする) 動かないで、

いや、それ、死ぬから、ちよ、肩車にしよ、

えー、おもんな、

(体制になって) はい、

やだなあ、(乗る) いいよ、

あげるね、よ、あ、腰が、やばい、

マミ みっちー?…あー、

ムジナ どう?ちょ、腰が、

マミ いないね、埃やばいな、これ、ちょっと、

(入ろうとする)

ムジナ 痛い痛い、ちょ、え、何して、

マミ もうちょい、上、

ムジナ いや、ちょっとっ、え、

マミ、 収納の中に入っちゃおう。

ムジナ ……すげえ、

マミ 入れちゃった

ムジナ ……え、どう、いる?

マミ わっかんねーなこれ、

ムジナ まあそうでしょうよ、

マミ ……あ、でもね、…いい。

ムジナ いや、

マミ なんかたぬぎになった気分。…降りるよ、

ムジナ

マミ、 ムジナを使って降りる。

マミ ん、(持ってたもの、どんぐりとかの木の実を

ムジナに渡す)

ムジナ え、何これ、

マミ あった

ムジナ え、なんで?

マミ ミチヨシかな、

ムジナ ……いやー、

マミ ……どこだー、あ、仕送りの段ボール狙われ

てるかも、

マミ、 部屋の隅にある段ボールを調べる。ムジナ、木の
実をポケットにしまう。

マミ (段ボールを開けて)…大丈夫、そう、あれ、

なんかめっちゃ減ってる、お菓子とかレトルト

のやつとか、全然ないんだけど、

ムジナ ……あ、その辺、…俺結構、

マミ ……え、食べたの?

ムジナ うん

マミ は?なんで勝手に食べるの?私の仕送りじゃ

ん、

ムジナ や、賞味期限が、あれだから、

マミ いや、言ってよ、そしたら、信じらんない、

あ、やっぱ、キャベツめっちゃ腐ってる、

ムジナ …

ママ あ、でも中は、あ駄目か、ごめんなさい、

段ボールを閉じ、もう一つの方を見ると穴が開いていることに気づく。

ママ え、まってこっち穴開いてる、これミチヨシ？

(箱開ける) ミチヨシ、いない、……わっ、ジャガイモめっちゃ育てる、(ジャガイモを取り出す) え、ちょっと見てこれ、

ムジナ …(見にきて) うわ、

ママ えー、凄いい、

ムジナ ちょっとした木じゃんこれ、きも、

ママ どうしよこれ、

ムジナ え、食べられるのこれ、

ママ いや、駄目だよ、死ぬよ、毒で、

ムジナ え、毒あんのこれ、(受け取る)

ママ え、知らないの？毒あんだよ芽には。ソラニン、

ムジナ あそっか、え、死ぬの？

ママ 死ぬ。

ムジナ えー

ママ 一週間もだえ苦しんで死ぬよ、

ムジナ …エグいなあ、いいこと一つもないね…どう

しよこれ、

ママ 捨てる。

ムジナ 植えれば？

ママ 嫌だよ、

ムジナ そっか…(ベッドの淵に座り眺める)

ママ …てか、えー、どこにいるんだろ、(辺りを

見回す)

ムジナ バオバブの木みたいだなこれ、あれの、星の王

子さまの。

ママ あー(あまり聞いてない)

ムジナ (ジャガイモ見ながら) バオバブは早いうちに抜かないと取り返しがつかなくなるんだよな

ムジナ、ジャガイモをどうするか悩んでひとまず水槽の中に入れる。

③

物音がする。

ムジナ …今なんか音しなかった？

ママ えした？

ムジナ なんかガサって、ベッドの辺り

ママ え、どこ？

二人、ベッドの周りを探す。

ママ (ベッドの裏を見て) 買ったな、

ムジナ …この辺だと思っただけど、

ママ (何か見つける) ん？

ムジナ あ、いた！逃げた！

ママ いた？(見つけたものの方に気をとられている)

ムジナ こっちいった！(部屋の隅の方) ここだ、

ママ …(エロ本を手に取り、ペラペラ捲る)

ムジナ …ん？あ、え、ネズミだ、ネズミいた、

ママ …、(何冊も出てくる)

ムジナ あ、行っちゃった、なんか、隙間に入って、

(ママに気づいて) …、あそれ、

ママ …(ムジナを見る)

ムジナ …、あ、ごめん、なんか、(エロ本をとろうと

するが避けられる) え、

ママ え何これ、

ムジナ ……まあ、ごめん、片づけるわ、

ママ なんてこないっぱいあるの？

ムジナ なんか、もらって、

ママ これ、隠してたん？

ムジナ …なんか、ね、捨てれば良かったんだけど、

ママ …(漁るともう一冊出てくる)、

ムジナ (笑っちゃう) ふふ、捨てるわ、ごめん、

ママ …？(プリンクルズの入れ物が出てくる)

ムジナ (焦る) あ、ゴミ、それ、

ムジナ、プリンクルズの入れ物をとろうとするが、ママは交わして蓋を開ける。中にはティッシュが詰まってる。

ママ なにこれ、

ムジナ ゴミ、

ママ なんでティッシュ詰まってるの？

ムジナ …、(奪う)

ママ え、それ、(気付いて) え、キモッ

ムジナ いや、違うよ？鼻かんだやつだよ、

ママ え、最悪、何貯めてんの、キモ、

ムジナ だ、鼻かんだやつだって、

ママ いや、めっちゃ臭かったもん、うわー最低、

ムジナ いや、

ママ え、なんなの、コレクションしてんの？

ムジナ ちーが、めんどくさいから、

ママ (被せて) 信じらんない、最低、

ムジナ だ、…鼻かんだティッシュと同じようなもん

マミ
でしょ、
は？

ムジナ
だから、鼻かんだ、や、もういや、

マミ
…いやなに言ってるの？

ムジナ
…もういいじゃん、ごめんって、（残りの

エロ本指して）返して、捨てるから、

マミ
だめ、

ムジナ
…は？

マミ
え、なんで？

ムジナ
だからいいでしょもう、

マミ
良くない、なにこれ、巨乳ばっかだし、なに？

ムジナ
当てつけ？

ムジナ
いや、

どこから物音

ムジナ
あれ、今音したよね、

マミ
いやいいから、

ムジナ
いや、ミチヨシだよ多分、（また音）ほらほら、

マミ
どうでもいいからそんなん、今、

ムジナ
いや、そんなんって

マミ
いないかんねこんな巨乳、何これ、意味わか

らん、（読みだす）化け物じゃんこんなん…え、

まじでなんでそんないっぱいあんの？マジで、
こんなとこ隠して、

ムジナ
もうごめんってだから、ごめん、（エロ本回収

して自分のバックに詰め込む）

マミ
え、どうすんのそれ、

ムジナ
捨てるよ後で

マミ
またどっか隠すんでしょ、

ムジナ
隠さねーよ、

マミ
…

ムジナ
……ミチヨシ探そ、ほら、

ムジナ
…どこ行ったのかね、ほんと、

マミ
…お腹空いた、

ムジナ
…

マミ
…え、お腹空いてる？

ムジナ
いや、俺は食べてきたから、

マミ
何食べたの？

ムジナ
男の晩御飯、

ムジナ
あー、…なんかあったっけ、（仕送りの段ポー

ル見て）ねーんだなんも、

ムジナ
、

マミ
…ちょっとセブン行ってくる、

ムジナ
あ、俺行ってこようか？

マミ いい、

ムジナ あ、はい、

マミ え、なんかいる？

ムジナ いや、

マミ (襖の前で) いないよね、

ムジナ ああ、

マミ、出ていく。

ムジナ …

④

ムジナ、マミがいなくなったのを確認すると、隠してあった残りのプリンゲルズのケース(4本くらい)をバックに詰め込む。そしてベットに寝、転がる。最初スマホを弄っているが、止めて天井を見つめる。突然うめきながらのた打ち回る。「うおお、」とか「俺はダメだ、」とかごちゃごちゃ言う。ふと思いついて本棚から「星の王子さま」の文庫を取り出して読む。

ムジナ (朗読する) キツネが現れたのはそんな時だっ

た

襖が少し開き、キツネの人形(マミが操っている)が出てくる。

マミ こんにちは

ムジナ こんにちは、君誰？

マミ キツネだよ

ムジナ おいで、僕と遊ぼう、僕いま凄く悲しいんだ。

マミ 君とは遊べない。なついてないから

ムジナ 懐くってどういうこと

マミ ずいぶん忘れられてしまってることだ。…それはね、『絆を結ぶ』ということだよ。

ムジナ 絆を結ぶ？

マミ

そうとも。…ぼくの暮らしは単調だ。ぼくがニワトリを追いかけて、そのぼくを人間が追いかける。ニワトリはどれもみんな同じようだし、人間もみんな同じようだ。だからぼくは、ちょっとんざりしてる。でも、もし君がぼくを懐かせてくれたら、ぼくの暮らしは急に陽が差したようになる。ぼくは、ほかの誰とも違うきみの足音が、わかるようになる。ほかの足音ならばくは地面に潜って隠れる。でも君の足音は音楽みたいに、ぼくを菓の外へいざなうんだ。それ

に、ほら！むこうに麦畑が見えるだろう？ぼくはパンを食べない。だから小麦にはなんの用もない。麦畑を見ても、心に浮かぶものもない。それはさびしいことだ！でも君は、金色の髪をしている。その君がぼくを懐かせてくれたら、すてきだろうなあ！金色に輝く小麦を見ただけで、ぼくは君を思い出すようになる。麦畑を渡っていく風の音まで、好きになる

ムジナ
ちよっとわかってきた。花がいてね。花は僕を懐かせてたんだな。…こうして王子さまはキツネをなつかせた。だが出発のときが迫っていた。

キツネの人形が急に苦しそうになる

マミ
ああ！…ぼく泣きそうだ

ムジナ
君のせいでしょ。僕はきみに嫌な思いなんか少しもさせたくなかった

マミ
そりゃそうだよ
でも泣くんではよ

ムジナ
そりゃそうだよ
じゃあ、いいことなんてなかったじゃない

マミ
あったよ…麦畑の色だ。…さようなら
ムジナ
さようなら

マミ
君は忘れちゃいけない。君は懐かせたもの、絆を結んだものには永遠に責任を持つんだ。君は、君の花に、責任がある…

キツネは引っ込み、襖が閉まる。ムジナは本を閉じ、ほっぼってねっ転がる。

突然クローゼットから物音がする。ムジナ、クローゼットを開けて中を探す。

ムジナ
ミチヨシ？…あ、

ムジナ、クローゼットの中でミチヨシを見つける。(客からミチヨシは見えない)

ムジナ
ミチヨシ、ミチヨシ、ほら、おいで、おいで、

ムジナ、ミチヨシの方に手を伸ばすが、噛まれる。

ムジナ
いって！（手を引っ込める）いった、っ、っ、っ、びっくりしたあ、なーにミチヨシ、なーに、ほら、…ごめんって。ごめん、ほら、（また噛む。噛んだまま離さない）いたたたたっ、痛

痛い、ちょ、いた、はな、ちょ、ちぎれるちぎれる、いたあ、ちょ、おい、

シングを直接かけて食べる。
少ししてからムジナ、出てくる。

クローゼットの中でミチヨシを振り払おうとして、どこかに叩き付けてしまう。大きな音がする。間。

ムジナ

……ミチヨシ？（ミチヨシ動かない）…やっぱ、嘘、やっちゃった、え、…どうしよ、

間、

ムジナ、クローゼットの中でごちゃごちゃやってるうちにマミが隠した封筒を見つける。マミが帰ってくる音。ムジナ、咄嗟にクローゼットの中に隠れる。

⑤

マミ、帰って来る。コンビニ袋を持っている。

マミ （ゆっくり襖を開ける）ただいま、なんか、今玄関の前に、狸みたいのがいて、（いないのに気付いて）あれ、

間、

マミ ……え、…なんで？

ムジナ あの、なんか、これ、（封筒を出す）、

マミ ……、

ムジナ なんか、たまたま、

マミ え、中みたの？

ムジナ ……なんか、うん、

マミ ……

ムジナ ……なんか、俺よく解んないんだけど、これ、あれ？、エコー写真、？

マミ ……うん、

ムジナ ……ああ、

ムジナ ……え、

マミ ……

マミ、何か音楽をかけベットの淵に座り、コンビニ袋から袋に入ったサラダを取り出す。袋を開けてその中にドレッ

ムジナ 妊娠してる、感じ、ですか？

マミ ……うん
…あー、

間、

ムジナ

いや、ごめん、なんか、違くて。びっくりして、初めてだから、なんか、なんて言っているか、いや、だから、あの一、別に、さっきの間は、後ろ向きの間ではないっていうか、…あー何言ってるんだろ、ごめん、テンパっちゃって、え、でも、いつ、だろうね、あれ、付けてたもんね、俺、…いいかさんなこと、えー、

マミ

…

間、

ムジナ

……うん、でもやっぱり付けてたよ俺、あれ、付け、てたよな、うん、絶対、付けな
いで、…、ってことは、ないよな、うん、そ
こは、ちゃんとしてた、付けてたよ、…、え、
ね？

マミ

…

ムジナ

…

マミ ……

ムジナ

…ごめん、え、付けてたよね、

マミ

付けてたようっさいなあ、

ムジナ

だよね、ごめん、だよね、…、え、じゃあ、…、
どういう、

マミ

…解んない、

ムジナ

…え、…と、なんていうか、

マミ

他の人じゃないからね、

ムジナ

…いや、そうだよ、それは、…、まあ、

マミ

…

ムジナ

…

マミ

疑ってるでしょ、

ムジナ

いや、それはない、けど、なんでかなって、

マミ

…知らないけど、付けてても、そういうこと
もあるって。

ムジナ

……まあ、そっか、

マミ

…

ムジナ

え、いつ頃、？

ムジナ

…何が？

マミ

…、そ、できたの、…っていうか、

ムジナ

…3カ月前位、だと、

マミ

…、(なんか計算している) ああ、

ムジナ

…

マミ

…

ムジナ …ふ、(ちょっと笑う) ごめん

マミ 何笑ってんの？

ムジナ いや、ふふ、なんか、、、ごめん、びっくりして、そっか、ごめん、、、ふー、そっか、えー、え、両親は、

マミ …(首を横に振る)

ムジナ あ、なるほど、、、なるほどなあ、んー、

マミ …

ムジナ そっかあ、そうだよなあ、、、んー、ごめんね、

ムジナ ちょっと、選択肢を、言い方あれだけど、

ムジナ 選択肢を整理しておきたいんだけど、ごめん

ムジナ ね、墮胎みたいなことって、、、3カ月って、

ムジナ どう、、、いや、そうしたいって訳じゃなくて、

ムジナ うん、ていうか、もう、降ろした、

マミ え、

ムジナ …

ムジナ …

間、

ムジナ …ああ、

マミ …ごめん、勝手に、あれして、

ムジナ ……えーっと、、、え、もう、？

マミ うん、

ムジナ いつ？

マミ 先週、…友達の家泊まった日あったじゃん、その時、

ムジナ …ああ、

マミ …うん、

ムジナ 手術、

マミ そう、

ムジナ ……そっか、…ごめん、ちょっと、なんか、

ムジナ 整理ができてなくて、

ムジナ ごめん突然、言わないつもりだったから、

ムジナ …それは、なんで、

ムジナ …んー、

ムジナ え、両親にも言っていないだよね、

ムジナ うん、

ムジナ じゃ誰にも？

ムジナ 友達にだけ、その子も、経験あったから、

ムジナ …ああ、で、ごめん、なんで、言わなかった、ていうか、

ムジナ ……ムジナくんに言ってもしょうがないと思っ

ムジナ て、

ムジナ ……、しょうがない、くはなくない？

マミ なんて？

ムジナ 一応、俺にだって判断する権利はあるんだ

からさあ、

ママ ないよ、

ムジナ 、あるよ、

ママ ないよ

ムジナ 一応、父親なんだから、

ママ え、よく父親とかいうよね、言えるよね、

ムジナ …でも、相談ぐらいするだろ普通、

ママ したって、結果出てんだから、

ムジナ 解らないじゃん、それ聞いて、俺が、なんか、

変わるかもしれないじゃん、

ママ 絶対ない、

ムジナ 解らないって言ってんじゃん、

ママ 絶対ない、

ムジナ …、

間

ムジナ 、うちの、犬だって、

ママ は？

ムジナ だ、馬鹿犬だったけど、ずっと子どもそのまま

みたいな犬だったけど、妊娠して、で、子ども

もが股の下から出て来た瞬間、ぱって動いて、

胎盤を噛みちぎって、赤ちゃんのことペロペロ

舐め出して、教わったわけでもないのに、一

瞬で母親になっちゃって、俺それまでその犬

見下してたのに、一気に、俺より大人だ

て、

ママ …メスの話しじゃんっ

ムジナ 別に同じだから、

ママ オスはなにしてたのその時、父親は、

ムジナ 知らねーよ、どっかの野良犬なんだから、

ママ じゃあ駄目じゃん、

ムジナ …とにかく、俺クソかもだけど、話してくれ

るくらい良かったじゃん、どうにしたらって、

ママ ……だから、困らせるだけだと思っただから、

ムジナ ……でも、言ってほしかったわ、それは、

ママ ごめんって、

間

ママ でもさ、ムジナくんミチヨシ飼う時なんて言っ

たか覚えてる？子どもの代わりって言ったよね、

ムジナ 冗談だろうけどさ、

…

間。ムジナ、クローゼットを見て頭を抱えてベッドに突っ伏す。

マミ ……や、ごめん…私の問題だけ、

ムジナ ……あ、お金とかは、

マミ 思ったよりかからなかった、

ムジナ ……俺払うよ、

マミ いや、私が勝手にやったことだから、

ムジナ いや、

マミ てかないでしょそんなに、

ムジナ ……

マミ ……なんかさ、もうちょっと、ちゃんとした

いね、私たち、

ムジナ ……(襖の方へ行く)

マミ どこ行くの

ムジナ トイレ、

ムジナ、出ていく。マミ、ぼーっとする。

⑥

コンポの曲を何回か先送りにする。コンポから雨の音が流れる。傘を取り出しさす。どこか一点を見つめる。ムジ

ナも傘をさし出てくる。これは回想である。
ムジナ、手に紙コップを持っている。コップの中身をつまみ、投げる。

ムジナ あら、変なとこいっちゃった…(もう一回投げる) ……あれ、…あ、拾った。おー、(また投げる) ……あ、とった。

マミ (見てる方向指して) ……あっち、

ムジナ え?

マミ あっち投げて

ムジナ あー、とどくかな、(投げる) あ、駄目だ

マミ 下っ手、

ムジナ や、やってみ

マミ ……(やるが全然だめ)

ムジナ ……

ムジナ ……(ムジナを叩く)

ムジナ ……

ムジナ ……

ムジナ ……(ムジナを叩く)

ムジナ ……

ムジナ ……

ムジナ ……

ムジナ ……

ムジナ ……

ムジナ、看板と照らし合わせて探す。マミも看板を見る。その後一瞬で見つけて指さす。

ムジナ 早、えあれココナッツ？

マミ うん

ムジナ (看板見て) あれ、…え、あれゴーヤじゃないの、ゴーヤ、

マミ 襟足があるの、ココナッツ。

ムジナ ゴーヤもあるけど…あ、なかった。あれゴーヤじゃないわ、あ、でもポリンキー、違うかな、

マミ、ぼーっと眺める。ムジナ、相変わらず看板と交互に見る。

ムジナ …ココナッツ、シントロウにべったりじゃん。

めっちゃもててんなシントロウ。…あ、シントロウ、ボス猿だ。…ははーん。

マミ、またコップからとって別の方に投げる。

マミ あ！頭当たった、

ムジナ え、誰？

マミ や、ムジナくんみたいのいたから、

ムジナ あれは…ハマツ、

マミ ハマツ、後ろ、あ、とられた、

ムジナ あー、…あ、あれゴーヤだ、… (看板見て) ハマツはムロタとよく土をいじくって遊んでいます…

マミ …

間

ムジナ …モテる男がモテてモテない男はモテないんだよな結局。

マミ …は？

ムジナ だから、ボス猿みたいのがモテるんだって結局。人間も。本能的に、女性はそういう男に惹かれるんだって。一途な、こう、一人の女性に命捧げるって男ほどモテないんだって。自分のDN Aは弱いですって言うてる様なもんなんだって。…私嫌だけどな、シントロウみたいの、…キムラさんめっちゃそういう系じゃん、ボス猿じゃん、

マミ …、…なんで男ってすぐ浮気すんの？

ムジナ もうだから、本能なんだよね、それも。遺伝子を沢山残したいって…逆に女性は、なんか、

子供産んで育てるのに時間かかるから、決めた雄にだけ欲情するんだって。本能的に。人間って一人じゃ子ども生んだり育てたりできないから、一人の男に、自分の方を向けさせておかないやなんだって。

ママ ……なんか嫌なんだけど、

ムジナ ……まあ本能だからね、

ママ ……なんでそんな詳しいの？

ムジナ ……なんか、生物学的にモテる方法みたいなの読んで、

ママ ……ふうん、……ムジナくんってさ、子ども欲しいとか思うの？

ムジナ ……うーん、…俺でも子ども見ると Dank シュー トしたくなっちゃうんだよね、

ママ は？

ムジナ (マイムで) こう…こう、、、バーンって、

ママ ……それは、生物学的に言うとうとういうことなの？
ムジナ わかんないけど、…子どもかあ、…わかんない
なあ、…え、ママは？

ママ ……まだいいかな

ムジナ そっか、

ママ ……まだ、子どもの為に、捧げられないかな。そんな、

ムジナ そうね、

ママ ……いつかちゃんと、そうなるかな、

ムジナ ……

ムジナ、紙コップの中身をつい食べる。

ママ え、何食ってんの、

ムジナ あ、食べちゃった、

ママ いやいや、

ムジナ いこっか。蛇見に行こ蛇。

ママ 嫌だよ

ムジナ あれやるから、ハリポッターのマネ。

ママ いいよ、

二人、行こうとする。

ムジナ ……あのさ、なんかさ、ベットとか飼ってみよっか、

ママ ……あー、え、何飼うの

ムジナ わかんないけど、

ママ ……バカっぽいのがいいな

ムジナ どういうのよ、

ママ ……ムジナくんっぽいやつ

ムジナ おー、

ムジナ、去る。マミ、傘を閉じてコンボを消す。少しぼーっとする。

⑦

マミ、ミチヨシを探し出す。

マミ ミチヨシー、ミチヨシ、どこにいんの、出て

きておくれよ、

ムジナ戻ってくる。

ムジナ ……

マミ ……(探す)

ムジナ ……あ、もう、探さないで、大丈夫なんだわ、

マミ え？

ムジナ ミチヨシは、いた。

マミ え、下？

ムジナ ……

マミ え何、

ムジナ ……マミ、俺は、最低だわ、

マミ ……

ムジナ ……俺ミチヨシのこと殺しちゃった、

マミ ……

ムジナ ……や、なんか唾まれて、めっちゃ、指千切れるかってくらいで、それで、ついバーンってやっちゃってえ、そしたら、動かなくなっちゃって、

マミ ……

ムジナ 最っ低だ…悪魔だわ俺、バオバブだ、俺がバオバブだった、…ごめん、ごめんなさい、

マミ ……誰に言ってるのそれ、

ムジナ ……わかんない、

マミ ……どこ？

ムジナ ……クローゼットの中、

マミ、クローゼットの前に来る。

マミ ……え、ここ？

ムジナ うん、

マミ ……(恐る恐る開ける)……(中を探す)どこ？

ムジナ ……(ムジナも来て中を見る)あれ？(探す)あれ、

マミ ……え、

ムジナ ……え、どの辺で？

ムジナ いや、ここに…あれ、いや、俺ここでばーんっ

て…、あれ？

ムジナ、ほかのところを探しだす。マミも探す。

マミ え、生きてたんじゃないの？

ムジナ そうかも、ミチヨシー、

マミ ミチヨシー、

二人、名前を呼びながら探す。

ムジナ、自分のリュックをひっくり返す。大量のプリン
グルズが出てくる。

マミ え？は、

ムジナ …、(必死にバックの中を探す)

マミ …、

マミはベットのマットレスをひっくり返したりして探す。

ムジナはプリングルズの中身のティッシュをぶちまけたり。
部屋がぐちゃぐちゃになる。二人、あきらめかける。その
時、高いところにある収納スペースの中から物音がする。
二人、スピーディにおんぶの体制になり、マミは中を覗く。

マミ …あ！

ムジナ いた？

マミ ……いや、え、

ムジナ え、なに、

マミ ……リスだ、

ムジナ え、

マミ リス、が三匹、

ムジナ え、そんないるの、

マミ ……家族なのかな、一匹子どもっぽい

ムジナ え、見たい、

マミ ……なんか探してる…あ、ねえ、さっきの、

ムジナ え？…ああ、

ムジナ、ポケットから木の実を取り出し、マミに渡す。

マミ、リスに向けて投げる。

マミ ……拾った。…あ、行っちゃった。

ムジナ え、どこに、

マミ なんか、穴の中、

ムジナ 穴？

マミ ……

ムジナ 探しに来たのかね、

ムジナ ……え、降ろしていい？

マミ ……

ムジナ ……マミさん？

マミ ……私達って、どうなんだろう、動物として

ムジナ ……

マミ ……人間も動物だよ、

ムジナ ……多分

マミ ……私は動物の権利があるのかな、ここにいても

いいのだろうか、

ムジナ ……

私になんとなく置いて、置いたのすら忘れてた
ゴキブリホイホイにヤモリは殺されたよ、

ムジナ ……それは、

私が、私のためにしたこと、ほかの、わたし、

を殺してしまったよ、…それでも、私は、やっ

ぱり自分が大事だよ、死んじやいたいくらいに、

ムジナ ……

ムジナ、急にマミを降ろす。

マミ ……ちょ、あぶな、

ムジナ ……動物を見よ。動物をよく見よ、ただの動物

を。

マミ ……何？

ムジナ や、なんか前読んだ本に書いてあって。

マミ ……え、

突然襖が独りでに少し開く。その直後に何かが廊下を
かけていく音。二人、襖の外を覗く。玄関の前にミチヨシを
見つける。

ムジナ あ、ミチヨシっ、

マミ ミチヨシ？

ムジナ (独白調に) その時、ミチヨシは振り返って、
はっきりこっちを見て、しばらく動かなかった。

その目は、ずっと忘れないだろうと思う。

玄関が開く音。二人は部屋に戻り、窓を開けてミチヨシ
が出て行った方を覗く。

マミ うわっ、ミチヨシの群れだ！

ムジナ わー、めっちゃいる、

マミ ……ミチヨシ行っちゃう、

ムジナ うん、

マミ ……え、いいのかな、

ムジナ ……わかんない、

マミ ……追いかける？

ムジナ ……いや、もう行っちゃうよ、

マミ …………どっから来たんだろ、

ムジナ ……もともと隠れてたのかもね、たぬきとかもそうらしいから、

マミ ……へー、……ミチヨシ大丈夫かな、

間

マミ ……あのさ、ヤモリ埋める時、一緒にじゃがいもも埋めてみようか

ムジナ ……なんで？

マミ ……なんか、養分で、育つかなって。あれ育つと花咲くんだよ

ムジナ ……え、花咲くの？あれ、

マミ ……うん、

ムジナ ……へー、

間

間

ムジナ ………すいませんでした

マミ ………それ、…何に對して？

ムジナ ………なんだろう、

マミ ………言えればいいってもんじゃなくない？

ムジナ ………でも、言わなきゃ、言ってくしかないような気もする。

間

マミ ………すいませんでした

ムジナ ………ごめんなさい

マミ ………ごめんなさい、

音楽、暗転。

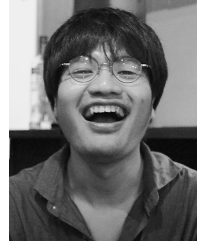
幕。

※引用文献

サンIIテグジュペリ 作 河野万里子 訳

「星の王子さま」21章より一部引用。

本橋 龍



1990年、さいたま市生まれ。

高校の頃銀杏 BOYZ を聞いた瞬間から「自分は何かを成し遂げられる」と信じて疑わない。同時期に部活にて演劇を始め、唯一自分ができると判断し現在まで続ける。

2009年、尚美学園大学に入学。若林一男教授の下演劇を学ぶ。

2013年に大学を中退。実家から家出し、そこから自身の創作ユニット「栗☆兎ズ」で劇作活動を本格的に始める。

2016年、江古田に居住し、活動の拠点である「栗☆兎ズ荘」（木造二階建ての一軒家。後のウンゲ荘）を構える。

2017年、8回目の公演「蛇の足がき」をライターの九龍ジョー氏が絶賛。同年ユニット名を「ウンゲツィーファ」に改名。

優秀賞

10分間

～タイムリープが止まらない～

中野 守

登場人物

大橋 聖子（オオハシ セイコ）
山下 春親（ヤマシタ ハルチカ）
手島圭太郎（テシマ ケイタロウ）
宮脇 一史（ミヤワキ カズフミ）
湯木 諭（ユキ サトシ）
塔矢いぶき（トウヤ イブキ）
石川（イシカワ）
店長
米村（ヨネムラ）

あらすじ

忘年会で居酒屋に集まった同じ大学の映画研究部OB達。そのうちのひとり聖子の身に二十時五十分から二十一時までの十分間を何度も繰り返すタイムリープ現象が起こる。聖子は、OB仲間の春親や後輩の宮脇、遅れてやって来る手島、三巡目から登場する湯木達に対して、同じ時間を繰り返していることを説明するが、誰も信じてくれない。

テレビドラマの監督をしている湯木がタイムリープものの脚本を書いているので詳しいという情報を得た聖子は、湯木がどうすればこの居酒屋の席に来てくれるか、様々な知恵を絞る。

湯木が聖子のもとへ来るまで一緒に飲んでいた塔谷いぶきの登場をきっかけに、時間の繰り返しから抜け出す方法が見つかる。それは、春親が読みたがっている脚本を探すというミッションを遂行することだった。しかし方法がわかっても、十分間しか持続しない時間の中ではなかなか脚本探しが進まない。

そんな憔悴する聖子のもとへ、十六回目の繰り返しの中で、石川という男が突然現れる。聖子と同じく、時間の繰り返しを実感している人間だった。

聖子は石川と協力し、遂に脚本を手に入れるが、何故かまたしても時間が巻き戻ってしまふ。一方、石川は自分に与えられたミッションを遂行したため、繰り返しから抜け出すことができ、聖子ひとりが時間の繰り返しの中に取り残されるが、石川の励ましがヒントになって、別のミッションがあることを見つけ、手島が持ちかける自主制作映画祭に応募することで、繰り返しから抜け出すことができる。

プロローグ

お盆の翌週の週末。午後八時四十七分。

居酒屋「ボレロ」。

大橋聖子、山下春親、スーツ姿の宮脇一史が座敷に

座っている。

聖子、アルバムを見ている。

聖子

めっちゃ懐かしいな。これどうしたん？

春親

こないだ手島と大学の学祭に行ってきた。

聖子

そうなん？

春親

ほんで久しぶりに映研の部室覗いてみよっかって

なって。

聖子

みんな若いなあ。これ誰？

宮脇

田所さん。

聖子

田所さんって誰？

宮脇

「メガホン取るときは、全裸だ」って言う人。

聖子

いはったいはったい！

宮脇

女優が全く出たがらないっていう。

春親

内容凄い真面目やのに監督一人だけ全裸で。

宮脇

あれびつくりしますよね。折角めっちゃいいシーン撮れたのに「主役の子の眼鏡に監督が映ってま

した」って。

春親

あったなー！

聖子

あー懐かしいなー。

宮脇

部室行ってないなー。

春親

部室に棚あったやん。入ってすぐこっちに黒い。

聖子

あったっけ。

春親

本棚に脚本書いたノートが大分昔の先輩の分

宮脇

ずっと取ってあったやん。

春親

年代順に並んでる奴。

宮脇

あれなあ、全部捨てられてた。

春親

えー？

宮脇

最悪やろ。宮脇、後輩の教育どないなってんねん。

春親

僕？ すいません。

宮脇

宮脇、立ち上がる。

春親

取りあえず、俺らの代の写真だけ回収して来たけ

宮脇

どな。

春親

帰るん？

宮脇

来たところ来たところ。トイレどっちでした？

春親

えー……。

宮脇

あーいいです探すんで。

聖子

宮脇、トイレへ。

「(アルバムに書かれた文字を読み)いつかみんな
でこの映画撮ろうぜ」？ 誰の字や汚いな。これっ
ていつの打ち上げ？

春親 打ち上げ違^{ちが}うって。ブタタローが脚本の選考会に

落ちた時の残念会。そんな写真混ざってた？

聖子 ブタタローの脚本の残念会？

春親 ー何かほら、二回の夏に、学祭で上映する映画

の脚本の選考会で候補に挙がってたやん。先輩の
ほうが人数多かったし、引退ってこともあって、
選考で落とされて。

聖子 残念会？ ウチおらんかったんかな。

春親 おるやんほら。

聖子 ホンマや。全然覚えてないわ。

エピソード1

聖子の手にはアルバム。春親、煙草の箱を取り出す
が空箱。クシャッと丸める。

春親 ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっ
ちゃ読みたくなってきた。(煙草) ないわ。誰か
コピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。
自分で探しいや。

春親 聖子、内容覚えてるか？

聖子 あれやろ、残念会の後にチカちゃんが二回生だけ
で撮ろう言うてウチが主役貫って、何かややこし
い奴やろ。居酒屋でずっと喋ってる。どんな内容

春親

やったか今日聞いてみたらええやん。誰か覚えて
るん違^{ちが}う？

いやいやそんなん違^{ちが}うねん。緻密な設定で書いて
たし。ちゃんと読みたいねん。ああもう、捨てる
んやったら言うてくれよホンマ。

聖子 やっと休みや。盆明けってしんどいわ。

春親 嫌やなあ、盆休みも終わりかあ。

聖子 え？ 何連休？

春親 九。

聖子 九？ ええなあ。

春親 明日休みなん。

聖子 うん。やることめっちゃ溜まって全然休めへん

けどな。

春親 そっか。

春親の携帯のバイブが鳴る。

もしもし。……お疲れさん。

店長、灰皿交換に来る。

失礼しまーす。

店長 ……今？ 聖子と宮脇が来てる。もう駅着いた？

はいはい。えっとな。「ワラワラワ(アジア
のイントネーションで)」の看板見えてる？

(聖子に) 注文お連れ様揃ってから……？

聖子、頷く。

店長

春親

……え？ 何処や。今何見えてる？ ……自転車
乗ったおっさん？ できたら動かん物がええな。

聖子

手島やろ。

春親

ジャンカラの前？ その隣。……違う^{ちや}違う^{ちや}そっち
やなくて、そうそうあるやろ看板。そのビルの四
階に「ボレロ」って店あるわ。エベ、エレベーター
があるから。出て左っかわ。四階の「ボレロ」。……
ああ、聖子の名前で。おう待ってるわ。あ、手島
手島手島、来る時な、煙草買って来てくれへん？
違うわ！ 誰がそんなもん頼むねん。た・ば・こ！
タスポある？ メビウス。うん、一箱。はい、待っ
てるで。はいはーい。(電話を切る) 手島、もう
すぐ来るって。

聖子

相変わらずすっと集まんメンバーやな。これ、
ネガあるやん焼き増ししよっかな。

春親

あげるでそれ。
くれんの？

春親

まあ勝手に持って来た奴やけど。
あざーす。

店長声

カウンター二十名様お帰りです。
………どうい店(の構造)？………。

春親

春親、鞆から包みを取り出している。
………ついでに、これもはい。

聖子

何？ え？ 何？
明日、誕生日やろ。

春親

え？ 覚えててくれたん？ うわ。マジでー。あ
りがとう。開けてもええ？
おう。

春親

中身は熊のぬいぐるみ。

聖子

やーん、めっちゃ可愛い熊のぬいぐるみ。ありが
とお。

春親

おう。

春親

自分の鞆にプレゼントをしまう聖子。
(何となく聖子が本心で喜んでいないと感じ) も
うひとつやったか。

聖子

え？ 何で？ ええ？ 嬉しいよ？
良かった？

春親

うん。
宮脇、迷ったらしく、店長に導かれて戻って来る。

店長

こちらですか。

宮脇

あ、すいません。迷って。トイレ使われてました。
宮脇、スーツのジャケットを壁のハンガーに掛け、
ネクタイをはずす。

春親

宮脇って最後に映画撮ったんいつ？
だいぶ前ですよ。修士一回の時とかやないですか

宮脇

ね。せや、その時大変やったんですよ。めっちゃ

怒られて監督に。聖子さん大学の時、いっつも助監督やってたやないですか。

春親

俺監督の時な。

ほんで、いつも朝サンドウィッチめっちゃ作って持ってきて、昼頃まで撮影見て、「帰るわ」って帰ってたから、「そういう感じなんや」って思ってた。ほんで、僕もサンドウィッチ作ってって、昼くらいに「お疲れ様でした」って帰ろうとしたら「いやいやいや！」って。「君まだ助監督の仕事何もしてへんやん」って！

聖子

違うん？ チカちゃんが作って来てって言うてたから。

宮脇

ね。僕もあれが助監督の仕事やってずっと思ってたから。

春親

そんなわけないやろ。え、お前、それ中に（私服）着てんの？

宮脇

え？ あ、はい。

春親

そら暑いわ。そんながつつり着替えるんや。

宮脇

だって服に臭いっくの嫌やし。

手島到着。手にはクリアファイル。中にチラシが見える。春親と同じデザインの服を着て来る。

手島

おう。

春聖／宮 遅い！／お疲れ様です。

手島

いやあ、あの、来る途中急に前がどっちかわからんようになって。

聖子

よくわからへんな。

手島

違うやん。おまえらがリアクション取らへんと面白くないやんけ。

宮脇

ちょっと。何で二人服一緒なんですか！

春親

うわ！

手島

嘘やん何これ！

春親

下も!? え？ イオン!?

手島

イオン！

春親

無印の隣の（店で）!?

手島

無印の隣の！ マネキンがー

春親・手島

着てた奴！

手島

凄いなこれ！ これ、マネキンが着てたこれ（シャツ）とこれ（ズボン）がカブるんは可能性なきに

春親

しもあらずやけどさ、何で靴下まで一緒やねん！

聖子

絶対あり得へんわ！

宮脇

それ仕込んでるでしょ？

手島

違^{ちが}うって！

春親

かぶんなよー！

手島

双子か！

春親

双子言うな。

手島

ちょっと！ ちょっとちょっと！

春親 何真似してんねん。

手島 おまえやろ。

春親 絶対俺が先に買うてるわ。

手島 俺やて。

聖子 レシートは？

春親 あるかも。

二人レシートを出す。

手島 (レシート見せ) ほら！ 俺の方が買うたん早い。

春親 うわ、何かめっさ悔しい。って隣座るんかい。

手島 (煙草を取り出し) これ？

春親 サンキュ。

宮脇、ワイシャツを丁寧に畳み、席に戻り髪型を崩す。

手島 春親、おまえ説明の仕方悪いわ。ここって、こ

いだのバニーガールの店の隣って言うてくれたら

早かったのに。

春親 隣？ 酔うてたから場所とか全然。(にやけて)

あの店やばいわー。

手島 な。

春親 レベル高すぎるやろ。

聖子 何、二人でオモロイとこ行ってんねん。

春親 (財布に) ちょっつきし小銭四百六十円や。はい。

手島 ええって。こないだのタクシー代。

春親 あ、じゃあ。

手島 せや、さっき下でがっしゃーんって音がして、ぱ

て見たら思いつきしこけてる人がおつてさ。よう

見たら湯木っぽかってんけど。

春親 湯木？ 湯木って湯木論(さとし)？

聖子 呼べば良かったのに。

手島 煙草の釣銭取ってる間に見失ってもうて。

聖子 煙草の自販機、店の入口出たところにもあったで？

エレベーターのところに。

春親 ホンマ？

宮脇 ああ、ねえ。今日ってこんだけですか？

手島 米さんがこれたら来るって言うてたけど。

春親 米さん来るん？

手島 来るなら着いてなおかしいのにな。

宮脇 手島さん、生？

手島 おう。

宮脇 すいませーん。

店長声 はーい、行きまーす。

聖子 今日仕事やったん？

手島 え、休みやで？

春親 何か用事あったん？

手島 コンピニでジャンプ読んでた。

春親 来いよ！ 待ってたのに。九時回ってるやんけ。

手島 回っていないって。

春親 聖子何時？

聖子 八時五十八分。

手島 ほら。

春親 一緒やろ！

店長がやって来る。

店長 はい。

宮脇 生二つ。

店長 生お二つで。(ベアルックを内心馬鹿にしているのを隠しきれない言い方で) かしこまりました。

店長去る。聖子と春親、酒を飲む。

手島 これ、こないだ持って来たん？

春親 うん。

手島 こないだ部屋行って来てん。

聖子 うん聞いた。

手島 ええなあ大学生。もっかい大学戻りたいなあ。

春親 それは思わんわ。

手島 せやなあ。今は今で充実してるもんなあ。

春親 そんなこともないけど。

手島 ないわなあ。

春親 手島は楽しそうやん。いろいろしてるし。

手島 そうかも知れへんけど、当時はもっとアホやってたやん。

春親 やってたなあ。映画村で勝手に映画撮ったり。

手島 あったなあ。あの時めっちゃ怒られたよなあ。

「せめて時代劇撮れ」って。

宮脇 聖子さんなんで止めんかったんですか。

手島 うちまだおらんかったもん。

手島 そっか、聖子舞姫やったもん。

宮脇 聖子さん舞姫やったんですか。

聖子 宮脇、知らんかったん？

手島 あの時誰おった？

春親 俺と手島とブタタロー？

手島 ブタタロー、現役の後輩に知られてたよな。俺ら

ブタタローと同じ回生って言うたら「あー」みたいな反応やったもん。

聖子 へー。

手島 湯木は勿論もっと知られてたけどな。

聖子 せやろなあ。

手島 あの、二回の夏の選考会に出してたブタタローの

脚本結構良かったのになあ。

春親 そやねん。今考えたらブタタローの本って良かったよな。

手島 やんなあ？ ただ俺らに表現力と根気と金がなかっただけで。

宮脇 惜しかったんですね。

春親 結局ブタタローの脚本ってどれも映像化できず仕

舞いやったなあ。

手島 もうあれから何年？ 十二？ 三？

手島 早いなあ。

春親 ブタタロー笑ってる……。

宮脇 早いです。しみじみするの。乾杯もまだなんですけど。

手島 せや。これ。自主制作の映画祭があって、俺手伝ってるねんけど、出してみたらって言われてるねんけど。

聖子 ー。

春親 ーん。

手島 あんまりか。

宮脇 聖子さんってどういう流れで映研に来たんですか？

聖子 大学入ってダンスサークル探してて、ほんで『舞姫』入ってんけど。

宮脇 いつからダンスやってたん？

聖子 高校から。贅肉全然なかったのにな。すっかり肉ついてもうたな。

手島 せやなあ。

宮脇 何で映研に？

聖子 最初はダンサーの役でひとり映画出てくれる子探してるって言われて。米村さんや。

手島 米さんか。ほんで夏合宿にはおったんか。

聖子 こそ。

春親 あれやん、結婚するやろ今度。

聖子 あーあー招待状来てた。

宮脇 米村さん結婚するんですか。

手島 俺、頼まれてるねん。米さんに。

聖子 何を？

手島 あの、撮影？

聖子 何の？

春親 結婚式の？

手島 結婚式の。……何か余興やってくれて言われてんけど、そんなんようせんし嫌やん。

一同 余興はなあ。

手島 でも何もせんわけいかへんからま撮影しましよってかって言って、丁度ドローン買ったとこやったし。

春親 ドローン買ったん？

手島 買ってん。やってみたかったしな。(ハンディカムを構えるマイム) アングルとか結構こだわりたいねん。今ホンマでもビデオもさ、ハードディスクやから楽やんなあ。映研の時ってテープやったなあ。

宮脇 ですよ、テープ金かかるし、かさばるし。劣化するし。

春親 そっか、テープなくてもええんや。

聖子 ん？

春親 あ、いや。

宮脇 米村さんって聖子さんのこと好きやったんちゃう？

ます？

聖子 え？

手島 何かあった？ モーション。

聖子 あったかなそんなん。全然覚えてない。

春親 時効やん。もう結婚するんやし。

聖子 えー、全然覚えてない。

春親 正直に言えや！

手島 そら米さんのことやからコクってるやろ。

聖子、頭を押さえる。

春親 どうした、聖子？

聖子 頭痛い……。え？ 何これ？

手島 笑いすぎ？

聖子？

聖子、倒れ、時間が巻き戻る。暗転。

エピソード2

聖子、テーブルに突っ伏した状態。手にはアルバム。

春親、煙草の箱を取り出す、空箱。

春親

ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっちゃ読みたくなってきた。(煙草)ないわ。誰かコピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。

おお、びっくりしたあ。

聖子

どしてん？

春親

いや頭が……。てか、またその話？

聖子

同窓会っちゅーのはそういうもんやろ。毎年同じ話して……。

春親

いやさっきの今やから。……あれ、二人は？

聖子

手島と宮脇。
ん？ 宮脇トイレやろ。手島はまだ連絡ないわ。遅いな。

聖子

まだって？

春親

電話してみよっか？

聖子

は？

春親

……何？

聖子

手島来たやん。

春親

は？ いつ？

聖子

さっき。

春親

え？ 来てないけど？

聖子

喋ってたやん。

春親

電話で？

聖子 は？

春親 酔うてる？

聖子 は？

聖子、グラスの酒の量が戻っていることに気づく。

聖子 なあ、ウチのお酒頼んでくれた？

春親 は？ いや？

聖子 さっき飲み干したのに増えてる……。何で？

春親 水溶けたんやろ。

春親 こんな増えへんやろ。

春親 ええ水やったんやろ。

春親の携帯のバイブが鳴る。

春親 もしもし。お疲れさん。

店長、灰皿交換に来る。

店長 失礼しまーす。

春親 ……うん、今？ 聖子と宮脇が来てる。……早よ来

な聖子もう酔うてるで。

聖子 手島、さっきおったやん。

聖子、グラスの酒を不思議に思いつつ、飲む。

春親 もう駅着いた？ はいはい。えっとな。「ワラワ

ラワ」の看板見えてる？

店長 (聖子に) 注文お連れ様揃ってからの方がいいで

すか？

聖子、訝しく苦笑。

春親

……え？ 何処や。何が見えてる？ ……自転車

乗ったおっさん？ できたら動かん物がええな。

ジャンカラの前？ その隣。……違う違うそっち

やなくて、そうそうあるやろ看板。そのビルの四

階に「ボレロ」って店あるわ。エベ、エレベーター

があるから。出て左っかわ。四階の「ボレロ」。……

ああ、聖子の名前で。おう待ってるで。あ、手島

手島手島、来る時な、煙草買って来てくれへん？

違うわ！ 誰がそんなもん頼むねん。た・ば・こ！

タスポある？ メビウス。うん、一箱。はい、待っ

てるで。はいはい。(電話を切る) 手島、もう

すぐ来るって。

聖子 いや、さっき来たやん。

春親 誰が？

聖子 手島。来る途中前がどっちかわからんようになった

たって。

春親 手島が、前がどっちかわからんようになった？

聖子 ていう遅刻の言い訳を。

春親 あー手島言いそうやな。

聖子 いやいや。ええ？ 何これ、デジャヴ？

聖子、腕時計を見る。

聖子 八時五十二分……？ なあ、さっきウチ時間訊か

れて八時五十八分って答えたよな？

春親 誰が訊いて？

聖子 訊いたやん。せやのに今これ八時五十二分って。

春親 訊いたって、いつ？

聖子 せやからさっき。

春親 ええ？

聖子 ええ？ ……なあ、何かおかしいって。

春親 ……うん（聖子が）。

聖子 ウチやなくて。ええ？

春親 見間違えたんやろ。俺のも五十二分やけど。

聖子 （笑顔で）ええ？ 何？ ドッキリ？ ちょっと

店長声 えらい手え込んでるやん。

聖子 ……え？

春親 あ、せや、これ。

春親 春親、鞆から包みを出す。

春親 明日、誕生日やろ？

聖子 !? これ……。

聖子、包みを渡されて嘩然としている。聖子、包みの

中から熊のぬいぐるみを取り出す。

春親 ……そんなに喜んでくれるとは思わなかった。え

えリアクションしてくれるなあ。

聖子 え？

春親 こっちまでグって来た。やっぱ嬉しいもんやね。

聖子

だって空気読めへん奴おるやん。一番嫌なのが、自分からプレゼントの話する奴。「プレゼント、待ってるねんけど？」みたいな。もう「あああ！」ってなるわ。

じゃなくて、これさっき……。

宮脇、迷ったらしく、店長に導かれて戻って来る。

店長

こちらですか？

宮脇

あ、すみません。迷って。トイレ使われてました。

宮脇、スーツのジャケットを壁のハンガーに掛け、

ネクタイをはずす。

春親

宮脇って最後に映画撮ったんいつ？

宮脇

だいぶ前ですよ。修士一回の時とかやないですか

ね。せや、その時大変やったんですよ。めっちゃ

怒られて監督に。聖子さん大学の時、いっつも助

監督やってたやないですか。

春親

俺監督の時な。

ほんで、いつも朝サンドウィッチめっちゃ作って

持ってきて、昼頃まで撮影見て、「帰るわ」って

帰ってたから、「そういう感じなんや」って思っ

て。ほんで、僕もサンドウィッチ作ってって、昼

くらいに「お疲れ様でした」って帰ろうとしたら

「いやいやいや！」って。「君まだ助監督の仕事何

春親 ……それですか。こないだ部屋行った時に大量にサ

ンドウィッチがあつてさ。

宮脇 脈々と受け継がれてるんですよ。

春親 え、お前、それ中に（私服）着てんの？

宮脇 え？ あ、はい。

春親 そら暑いわ。そんながつつり着替えるんや。

宮脇 だって服に臭いつくの嫌やし。

手島、到着。手には封筒と煙草。

手島 おう。

春／宮 遅いー。／お疲れ様です。

聖子 手島……。

手島 いや、来る途中急に前がどっちかわからんようになつて。

春親 （聖子の予言に）え、え、え？ 嘘やん！

手島 （ノリノリで）マジやって！ 『あれ？ 前ってどっ

ちや。そもそも、前って何や？』 ってなつて！

宮脇 ちよつと。何で二人服一緒なんですか！

春親 うわ！

手島 嘘やん何これ！

春親 下も!! え？ イオン!!

手島 イオン！

春親 無印の隣の!?

手島 無印の隣の！ マネキンがー

春親・手島 着てた奴！

手島 凄いなこれ！ これ、マネキンが着てたこれ（シャ

ツ）とこれ（ズボン）がカブるんは可能性なきに

しもあらずやけどさ、何で靴下まで一緒やねん！

春親 あり得へんわ！

手島 （煙草を渡す）これ？

春親 サンキュ。

宮脇、ワイシャツを丁寧に畳み、席に戻り髪型を崩

す。

手島 春親、おまえ説明の仕方悪いわ。ここって、こ

いだのバニーガールの店の隣って言うてくれたら

早かつたのに。

春親 え？ 隣？ 酔うてたから場所とか全然。あの店

やばいわー。

手島 な。

春親 レベル高すぎるやろ。

聖子 ちよちよちよ、何なん？

手島 は？

春親 （財布に）ちよつきし小銭四百六十円や。はい。

手島 ええって。こないだのタクシー代。

春親 あ、じゃあ。

手島 せや、さっき下がっしやんって音がして、ぱつ

て見たら思いつきしこけてる人がおつてさ。よう

見たらー

聖子 湯木っぽい人がこけてた。

手島 そうやねん、自転車とぶつかって、え？ 何でわかったん？ 上から見てた？

聖子 いや……。

手島 声掛けようかと思ってるけどな。

聖子 煙草のお釣り取ってる間に見失ったんやろ？

手島 ええ？ 何それ？ 凄いな、勘。

聖子 (勘やなくて……)

手島 何か猛然と自転車追いかけてった。

春親 キレて？

手島 かな？ びっくりしてたみたいやったけど。

宮脇 今日ってこんだけですか？

手島 米さんが来るって。

春親 米村来るん？

手島 もう少し時間かかるから先やってってメール来た。

春親 てた。

春親 まええか。

宮脇 手島さん、生？

手島 おう。

春親 すいませーん。

店長声 はい。

聖子、自分の鞆を確かめる。春親に貰った熊のぬい

ぐるみがない。

聖子 あらへん!!

春親 何が？

手島 モラル？

聖子 は!?

春親 (聖子が) さっきから変やねん。どしてん？

聖子 プレゼントがない。

春親 持ってるやん。

聖子 じゃなくて、さっき貰った……。

春親 は？ 何を貰ったん？

聖子 熊のぬいぐるみ。

春親 持ってるやん!

聖子 何なんこれ(この状況)!!?

春親 熊やん!

店長、やって来る。

店長 はい。

宮脇 生二つ。

店長 生お二つで。(ペアルックを内心馬鹿にしている

のを隠しきれない言い方で) かしこまりました。

店長去る。

春親 ……チカちゃん、ウチの鞆触ってないよな。

聖子 は？

聖子 これ、さっきと同じ時間繰り返してる。

宮脇 同じ時間、繰り返してる？

聖子 こんなことってある？

手島 ……こないだ夜中にな、喉が渴いたからジュース

飲もうと思って台所行ってさ。パッと時計みたら

丁度夜中の〇時で、ほんで、あれ、俺、今何しに

来たんやろってど忘れして。で、部屋戻って。せ

やせやジュースやって。で台所行って、エエッ？

(またど忘れ)

聖子 いや、全然違う……。

春親 エエッ？ 俺、飲み物のこと何でもジュースって

言うてる？(みたいなの)。

聖子 聞いて！

二人 はい？

手島 時間繰り返してる。

聖子 え？

手島 時間繰り返してる。

聖子 あっ、うん(今)。

宮脇 今のはおまえが言わせたんやん！ え？

手島 わからへんの!?

宮脇 みんな大変ですね。時間が戻ったり、前がどっち

かわからんようになったり。

聖子 なあ、ホンマに繰り返してんねんで。

手島 そんなんやったら湯木連れて来れば良かったな。

聖子 湯木？

手島 湯木、BSでドラマの監督やるみたいやねんけど

な、同じ時間を繰り返す話って。まだ発表前やか

ら誰にも言うなって言われてんねんけど。

宮脇 何で言うたんですか。

聖子 湯木呼ぼうや。まだその辺におるやろ？ 手島、

電話して。

手島 ええ？

手島 電話を鳴らす。

手島 ……現在使われておりませんって。

聖子、頭痛で頭を押さえる。

手島 あれ、またや。何これ。

手島 大丈夫か？

聖子、ぶっ倒れる。

* おいおいおい。

時間が巻き戻る。暗転。

エピソード3

聖子、テーブルに突っ伏した状態。手にはアルバム。

春親、煙草の箱を取り出すが、空箱。

春親 ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっ

ちゃ読みたくなってきた。(煙草)ないわ。誰か

聖子 コピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。
え？（時計を見て）またや……。何これ……。

春親 どうしたん？

聖子 手島は？

春親 遅いな。

聖子 やっぱり。

春親 何がやっぱり？

聖子 ……なあ。ウチ、さっきから同じ時間、繰り返し
てる。

春親 は？

聖子 さっき時計見た時、八時五十八分やって、それか
らちょっとして、急にぐわって頭痛くなって、チ

カちゃん、一回喋ったことまた繰り返し喋り出す
し、手島と宮脇、急におらんようになったから何
やこれ思うて、パって時計見たら八時五十二分。
で、また宮脇がトイレいっばいや言うて、暑いっ
て着替えて、で手島来て、ちょっとしてまた頭痛
くなって、今また手島と宮脇急におらんようになっ
たから、時計見たら、八時五十分。お酒も飲み干
したのに増えるもん。「増える!」って奴さっ
きもやったもん!

春親 ……。

聖子 なあ!

春親 何が？ 手島まだ来てないやん。

聖子 せやから、時間が過去に戻ってるねんて。

春親 んん？

聖子 何でウチだけなん……。

時計を見る聖子。

聖子 ……もうすぐ手島からチカちゃんに電話があるわ。

春親 は？

春親の携帯のバイブが鳴る。

聖子 ほらほらほらほらほら！ 手島やる!

春親 そら、近く来たら連絡くれって言うてるし。（電
話に出る）もしもし。お疲れさん。

店長、灰皿交換に来る。

店長 失礼しまーす。

春親 ……うん、宮脇と、……聖子も来てるねんけど。……

春親 ちょっと早く来てほしい。今どの辺？ もう駅着
いた？ はいはい。えっとな。「ワラワラワ」の

看板見えてる？

聖子 こないだジブんと手島が一緒に行った店の隣やっ
て言うた方が早いから。

春親 ?

聖子 バニーガールの。間違うてる？

春親 ……手島、前に手島が連れてってくれた店あるや
ん。客にバニーガールの格好させる店。

聖子 ……。

春親 ……。

聖子 ……。

聖子

!?

春親

あれの隣の『ボレロ』って居酒屋やから。……は
いはい。あ、手島手島手島、来る時な！

聖子

煙草やったら店出たところに自販機あるから。

春親

(聖子に) ?

聖子

煙草やろ？

春親

(電話に) あ、ええわ。ほな待ってるで。(電話を
切る) ……聖子、何でわかったん？ 店出たところ
に煙草の自販機があること。
問。

聖子

……見たから。それは見たから！ 他に驚くところ
あるやろ！

春親

(考えて) え？ 何でわかったん？ 俺が煙草買っ
て来てもらおうと思ったこと？

聖子

そうや(そこや) !

春親

何で？

聖子

三回目やから。

春親

は？

聖子

せやから同じ時間を三回繰り返してるって言うて
るやん。

春親

そんなんあり得へんやん。

聖子

知らんやん！ 現に繰り返してんねんから。

春親

それやったらここ(手振り)にあと二人聖子がお

聖子

らなおかしいやろ。
そういうのと違^{ちが}うねん！ 意識だけが十分前に戻っ
てるねん。

春親

十分後の聖子の意識が今日の前にいる聖子ってこ
と？ ほな、今の聖子の意識は十分前に行って、
十分前の聖子の意識は二十分前に行って？

聖子

いやだから、ウチの中で時間が巻き戻ったみたい
になってるの！

春親

巻き戻ったんやったら何で聖子の記憶も巻き戻ら
へんねん。

聖子

だからウチだけ記憶が残ってるから時間が繰り返
してることに気づいたんやろ。ウチの記憶も巻き
戻ってたら、気づかへんやん。

店長声

カウンター二十名様お帰りです。

春親

どないやって信じるって言うねん。

聖子

(溜息)。……手島、チカちゃんと同じ服着て来る
わ。

春親

何でそんな嫌なこと言うねん。

聖子

ほんで「来る途中急に前がどっちかわからんよう
になった」って遅刻の言い訳するわ。

春親

何で俺と同じ格好でそんな寒いこと言うとか言う
ねん。

聖子

……今日ウチ一回もチカちゃんの鞆触ってないよ

な。

春親

うん。

聖子

触っていないな？

春親

うん。しつこいな。

聖子

……熊のぬいぐるみのプレゼント入ってるやろ。

春親

んんん！ 一番やってほしくないことを！ 何、勝

手に鞆触ってんねん！

聖子

触ってないって言うたやん！

春親

俺の折角のサブライズを。

聖子

信じへんから証明したんやん！

春親

何俺をサブライズしようとしてんねん！

宮脇、迷ったらしく、店長に導かれて戻って来る。

宮脇

どしたんですか？ 何の話ですか？

春親

最悪や聖子。

宮脇

どうしたんですか。めっちゃ声漏れてましたよ。

聖子

……（脱いで着て脱いで着て）。

宮脇、席に戻って私服に着替える。

手島

手島登場。手には封筒。春親と同じ服を着ている。

春・宮

遅いー。／お疲れ様です。

手島

……いや、来る途中急に前がどっちかわからんよ

うになって。

春親

（聖子に）嘘？ 何で（わかったん）？

手島

（自分が訊かれたと思い）何で？ 年やから？

春親

湯木やん！ どうしたん!?

手島

いや偶然下で。

春親、手島に驚いた風に見えて実は湯木の登場に驚

いていた。湯木、顔が赤い。直前に転んで痛そう。

聖子

（気づいて）湯木？

宮脇

ちよっと。何で二人服一緒なんですか！

春親

うわ、ホンマや！ えーもう何でやねん!?

湯木

きっしょおとおお!

聖子

な！ 言うたやろ！ 春親、春親！ 春親！

春親

何が？

聖子

せやからさっき服一緒って言うたやろ！ これや

春親

ん！

春親

ホンマや。え？ 何でわかったん？

聖子

せやから。何回も説明してるやん！

湯木

あーはっはっは！ おええええ。

聖子

湯木煩い！

春親

わかった。写メやろ。手島から写メ貰ってそれで

聖子

同じ服ってわかったんやろ。

春親

写メなんか貰ってないって！

手島

手島、今日聖子に送った？

うん。

聖子 ほう！

春親 ほう！

聖子 え？ 何で！？

手島 え？ 今急いで向かってるって証拠を。

聖子 そんな今までしたことないやん！

宮脇 写メ撮らんかったらもっと急いで来れたん違^{ちが}うんですか？

手島 ああ、そんな風に考える？

春親 俺ちよー、煙草買うて来るわ。

聖子 ホンマや（写メ）届^といてる（倒れる）。要らんことを……。

春親、煙草を買いに。

（アルバムを見て）また懐かしい写真が。ブタタローや。

湯木 お久しぶりです。今日ってたまたまですか？

宮脇 そうそう下でな。俺のこと呼ぶ奴がおるから誰や

湯木 思うて振り返ったら触角抜かれたみたいなき

てる奴がおるから何やあいつと思^{おも}ったら手島や

て。で、みんな集まってるって言うから。

手島 一緒に飲もうや言うてなあ。

聖子 そっか。煙草買わんかったから捕まえられたんや。

湯木 実は手島に会う前にこの（店で）。

宮脇 今日ってこんだけですか？

手島

手島 米さんがこれたら来るって言うてたけど。

宮脇 あの人時間にルーズやからな。絶対時計見いへん

でしょ。

湯木 素朴な疑問やねんけど。何で俺呼ばれてないんか

な。

宮脇 湯木はスマホをテーブルに置く人。

湯木 あ、これ（スマホ）出たばかりの奴。

手島 そやねん。昨日携帯変えて。せや、番号変わって

ん。（渡りに船とばかりに）せやろ。せやから連絡で

きへんかったんやて。

湯木 あー、いやいやできるやろ。

聖子 番号交換しようとする前に。

湯木 さっき下で自転車とぶつかってたんやろ？

聖子 せやねん。え？ 何で知ってるん？ 見てたん？

湯木 聞いた。

聖子 誰に？

湯木 手島。

手島 もう喋ったんか？

湯木 言うてないって。一緒に上ってきたやん。俺電話

なんかしてないやん。

湯木 写メ送ったんやろ。

手島 いや、もっと前やし。

宮脇 (湯木の顔の傷) うわ痛そう。

手島 湯木、あのチャリ追っかけようとしてなかった。
湯木、あと思ってるんだけど、見失って。あの自転車さあ。

春親、戻って来る。手に煙草。

湯木。湯木。

聖子 はい？

湯木 同じ時間繰り返すドラマ撮ってるって？

聖子 え？ その話聖子にしたっけ？

湯木 手島に聞いた。

手島 え？ 言うてないやろ？

湯木 どうしたん手島。えらい口軽いやん。

手島 知らんって。

聖子 湯木、もしウチが今その状況になってるって言う

たら信じてくれる？

湯木 え？ 聖子が？ 時間を繰り返す、ドラマを撮っ

てる？

宮脇 マジっすか。

聖子 今、同じ時間を何回も繰り返してんねん！

手島 聖子ってそういうところあるよな。

聖子 ないわ！ ないけどホンマに繰り返してるねん。……

そや、繰り返す前にな、チカちゃんの財布の中に

小銭が何枚入ってるか聞いてん。それ当てたら信

じてや。

春親 外れたら物真似な。

聖子 何でえ。

春親 当たるんやろ？

聖子 ……ええよ。

春親 何枚？

聖子 煙草買ってちょっきし全部使うたから……ゼロ！

春親 (財布の小銭を机にばらまき) はずれ。

何故か起こる大人の拍手。

聖子 嘘や!? チカちゃんの吸ってる煙草って四百六十

円やろ？

春親 うん。せやから千円でお釣りが五百四十円やろ。

ほんで元々四百六十円入ってたから！

聖子 せやから何でその四百六十円を使えへんのよ！

手島 滝川クリステル！

手島 聖子、物真似で即座に返すが撃沈。

手島 湯木、携帯の番号教えてや。

聖子 聞けよ！

湯木 昨日に携帯変えたところさ。

手島 湯木、携帯を取り出す。携帯の画面を覗き込む手島。

手島 何その待ち受け。

湯木 ネイマール。

手島 サッカー好きやったっけ？

湯木 最近填ってん。

宮脇

オリンピック凄かったですね。

何処の国が凄かった等という話題（初演参照）。

手島

何処応援してた。

湯木

ガンバ。

手島

あそう。

湯木

言うで？ 0904の2の。

手島

え？ ちょちょ、何処で切るん？

湯木

335の88。

手島

……OK。かけてみて。

湯木

え？

手島

俺の番号変わってないから。知ってるやろ？

湯木

知ってるけど。ええ？ じゃあ何で訊いた？

湯木、電話を掛ける。

手島

（速攻で通話） はい？

湯木

何で取んねん（笑）。あ、ごめん聖子、何の話やっ

たっけ？

聖子

ぬう。

手島

聖子が財布に幾ら入ってるか当てる手品を覚えた

とか何とか。

聖子

どれだけ興味ないんよ！

春親

聖子の手品はデリカシーがないわ。

聖子

ホンマにウチだけ時間戻ってるねんて！ 信じて

や！

手島

腕時計を見ている手島。聖子、頭痛。これ……。時計に聖子の名前が。

春親

うわ、俺もや。

湯木

え？ あ、俺も。

手島

ローマ字で。

聖子

知ってる！

聖子、倒れ、時間が巻き戻る。暗転。

エピソード4

聖子、テーブルに突っ伏した状態。手にはアルバム。

春親、煙草の箱を取り出すが、空箱。

春親

ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっちゃ読みたくなってきた。（煙草）ないわ。誰か

コピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探一

机を叩く聖子。ビビる春親。

ど、どしてん？

春親

ど、どしてん？

聖子

（ぐざぎ）ふざけんなよふざけんなよふざけんな

よふざけんなよ……。

春親

（ビビって）ふざけてるよね。うん。

聖子

どうなってるねん！ 四回目や！

春親

せやね。四回目やね。……何が？

聖子

せや。

聖子、携帯を出す。

聖子 (写メの) 手島の顔ムカつく。……0904の2の……。

店長、灰皿を換えに来る。

聖子 もしもし、聖子やけど。

店長 失礼しまーす。

聖子 ……ああ、久しぶり。……うん、元気。いきなりで悪いけど、ボレロって店知ってるやろ？ 変なメニューばかりのトコ。うん。今その店入ってすぐ右の座敷で飲んでるねんけど、ガンバの選手が隣で飲んでるねん。

店長

？

店長、「ガンバの選手」を気にしながら、一礼して出て行く。

聖子 ……近くにおるんやろ？ もう帰りそうやから早くおいで！ 四階な。はいはい。

聖子、電話を切る。

春親 今の手島？

聖子 湯木。

春親 湯木？ 湯木ってあの湯木？

聖子 うん。

春親 湯木来んの？

聖子 すぐ近くにおるって言うてたから。

春親 ……ま、ええわ。(腰を上げ) ……で、何処にお

るん？

聖子 今から来るって。

春親 湯木やなくて。

聖子 は？

春親 ガンバの。

廊下に身を乗り出し、店内を見回している春親。

聖子 ……ジブンってあれやな。めっちゃ信じてほしいときには全然信じてくれへんのにな。

春親 誰？ 永島？

聖子 チカちゃん、チカちゃん！ 今からできるだけ早

口で喋ってくれへん？

春親 何で？

聖子 時間ないから。

春親 え？ 今日用事あんの？ ええ？ あ、ほんなら

これ先渡しとくわ……。聖子、これ。明日、誕生日やろ。

春親、鞆から包みを出す。

聖子 わあ。ありがとう。めっちゃ可愛い熊のぬいぐる

み！。

聖子、包みを開けずに自分の鞆へ。

春親 ……。ちよちよちよちよちよ！ え？ ええ!?

チカちゃん！ 煙草買いたくなったら、店出たと

聖子

こに白販機あるから。

春親
え？

聖子
煙草切らしてるんやろ？

春親
ああうん、それより聖子、何で熊って……。

湯木、息を切らせて店に来る。顔に傷がない。

湯木
聖子、何処のテーブル？

聖子
あー……。

湯木
うそーん？ 入れ違い？

聖子
うん！（嘘）

湯木
あー遅かったかぁ。

春親
湯木。

湯木
おー春親！ 久しぶり！ ええなぁ！（春親は選

手に会えたと思ひ込んでいる）……え、聖子、誰

やったん？ ていうか、聖子、何で俺の携帯番号

知ってんの？ 変えたん昨日やのに。

聖子
聞いてん。

湯木
誰に？

聖子
湯木に。

湯木
……教えてないやろ？

聖子
湯木。

湯木
湯木が今撮ってるドラマの話の聞きたいねんけど。

春親
それより聖子、何で熊って。

聖子
同じ時間を繰り返す話。

湯木
何で知ってんの？

聖子
湯木に聞いた。

湯木
してないよな？

聖子
した。

湯木
してないって。

聖子
した。

湯木
いつ？ 何処で？

聖子
ここで。

湯木
聖子と来たことないやん。

聖子
繰り返す前に聞いてん。

湯木
え？

聖子
さっきから同じ十分間を繰り返してんねん。チカ

ちゃん、今何時？

春親
（メールチェックしながら）はなぢ。

聖子
今八時五十三分や。これが四回目の！ 何でかう

チひとりだけが時間繰り返した記憶が残ってるね

ん。因みに湯木が今日店に来たのはそのうちの三

回目と、この四回目だけや。携帯の番号も湯木本

人に聞いた。最近番号変えたんやろ。ほんで最近

サッカーにハマってる。

湯木
……一体、何の話なん？
せやから！ ウチ今、時間繰り返してんねん！

店長声

カウンター二十名様お帰りでーす。

湯木

……つまり、俺の携帯番号もサッカーにはまってることも、その時間を繰り返す前に俺が聖子に教えたって言いたいん……。

聖子

そう。もうすぐチカちゃんの携帯が鳴る。電話して来るのは手島。ほんで、来た時「前がどっちかわからんようになった」って遅刻の言い訳するわ。ああ……。

湯木

興味持てよ！

聖子

あ、手島から着信あったわ。

湯木

え？ 何なん？ 何のゲーム？

春親

(電話をかける) あもしもし。ごめん電話くれててんなあ。……今、湯木が来た。

湯木

手島？

春親

(湯木に頷き) 聖子と呼んで。騙して。

聖子

!!

春親

今どの辺？ えっとな。

聖子

客にバニーガールの格好させる店の隣って言うた方が早いから。

春親

……客にバニーガールの格好させる店の隣の『ボレロ』って店。オモロい遅刻の言い訳待ってまーす。

聖子

言うたらあかんやん！

春親

……四階な。あ、手島手島手島、えーっと何もないわ。はいはい。待ってるわ。

春親、電話を切る。

湯木

聖子、そんな店行ってんの？

春親

引くわー。

聖子

自分やろ！

春親

おまえがわからん。

聖子

その言葉そっくりそのままあなたに返すわ！……何でみんなは繰り返す前のこと忘れてしまってるんよ！

宮脇、店長に導かれて戻って来る。

店長

こちらですか。

宮脇

あ、すいません。湯木さん。

湯木

おー宮脇。え？ これって同窓会？

宮脇

そうですね、毎年こんな感じで。

湯木

何で俺呼ばれてないん？

宮脇、席に戻って私服に着替える。

聖子

なあ、湯木、ドラマ撮ったんやったらウチがどういう状況におるんかわかるやろ。

湯木

タイムリープなんか現実に起こるわけないやろ。

聖子

タイムリープ？

春親

タイムリープ？

湯木

知らんと言うてる？ 同じ時間を何遍もやり直す

ことをタイムリープって言うねん。知らん？ 映画とか小説とか結構あるで。

聖子 ほんでな、この後手島が来て、しばらくしたらウチが頭が痛くなって、わーってなって、そしたら時間が十分位前に戻ってっていうのを今まさにってる最中やねん。湯木さっき下でずっこけてた？

湯木 下？ え？ 下で？

聖子 そっか。さっきのタイミングで電話したらぶつからへんのか。顔の傷なくなってる……。いや、ウチが湯木に電話せんかったら湯木は下で自転車にぶつかってずっこけててん。えへえ？ タイムリープって言うんか……。

手島到着。

手島 おう。

春・宮 遅いー。／お疲れ様です。

手島 ごめんごめん、満ち潮で。

春親 全然違うやん。

聖子 チカちゃんが要らんこと言うからやる。(湯木に)

ウケすぎや！

手島 おお、湯木。

湯木 おう。……二人服一緒やん！

手島 え？ わ！ 嘘やん何これ！

春親 下も!? え？ イオン？

手島 イオン。

手島 無印の隣の！ マネキンがー

春親・手島 着てた奴！

春親 あ、聖子！ 同じ時間繰り返してると言うたな？

聖子 うん。

春親 嘘や。もしホンマやったらな、これ(服一緒)を

真っ先に言い当てるはずや！

湯木 ああ、それは言えてる。

春親 何でこれを言わんねん！

聖子 さっきは当ててんで！

春親 さっき？

聖子 前の繰り返しで。

春親 うまい後付けやな。

聖子 ホンマやて。言わんかったら言わんかったでこれか。

手島 何の話？

湯木 いや聖子がちょっと。同じ時間何回も繰り返ししてると言うてるねんけど。

手島 繰り返ししてんの？(笑)

手島 何で笑うんよ。

手島 え、何で繰り返ししてんの？

聖子 知らんやん！

手島 え、何回目何回目？

聖子 四回目！

手島 え、何回目って俺が聞くの何回目？

聖子 うざい！ とにかく元に戻す方法を考えてほしいねん。

湯木 わかったから落ち着けや。

春親 ゆっくりしてたらまた時間戻ってまうやん。十分

しかないから。

聖子 せやからガンバの選手が来てるって言うたんやん。

そない言うたら湯木急いで来ると思っ

湯木 あれ嘘やったんか。

手島 もっと凄い人が来てるって言うたらもっと早く来

たかもな。

* どんない？

* ペレとか。

湯木 ペレ（笑）。

春親 今、ペレと飲んでるねんって（笑）。

聖子 ホンマ信じへんねんなあ。

湯木 何でそんなイライラしてんの。

手島 四回目やから（笑）。

聖子 何バカにしてんのよ！ 鬱陶しいなあ。

手島 ごめんな聖子。次もどうせウザいと思うから先に

謝っとくわ。

聖子 ホンマに繰り返してんねんて！

手島 （メニューを見て）何食お。……何これ？

湯木 ここって変なメニューばかりやろ。

聖子 なあ、何で繰り返してるか、あんたら心当たりない？ 何でもええねん。些細なことでもええから。あつたら教えてほしいねんけどー

手島 こな（いだ夜にな）ー

聖子 ー手島以外で。

手島 ……。

春親 聖子の他にも繰り返してる奴がおればまだなあ。

聖子 みんなも繰り返してんねん。

春親 それを実感してる奴がおれば信じられるかも知れ

手島 へんけどなあ。

手島 でもその人はトイレの個室の中におって、延々う

んこが出てると思い込んでたりしてな。「どうなっ

てんの俺の体は!」みたいな。（爆笑）

春親 そう考えたら聖子はまだ幸せやな。

聖子 何の話やねん！

手島 可哀想な人やな。

聖子 おまえや可哀想な人は！ 湯木なら何かヒントも

らえそうやからあんた呼んだのに。真面目に話し

たつてバカにして笑うだけやし。……そろそろ頭

痛が始まるわ……。もう嫌や……。

手島 聖子、頑張れよ。……俺ら先に未来で待ってるか

ら。

聖子 あああああ！

聖子、倒れ、時間が巻き戻る。暗転。

エピソード5

聖子、テーブルに突っ伏した状態。手にはアルバム。

春親、煙草の箱を取り出すが、空箱。

聖子、時計を確認。

春親 ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっちゃ読みたくなってきた。(煙草) ないわ。誰か

コピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。

顔を起こさずにいる聖子。

春親 どうしてん？ え？ 聖子、何か急に疲れてない？

聖子 ……大変やねん。

春親 ……何が？

聖子 ふう！

聖子、力を振り絞り起きあがって、携帯を操作。

聖子 削除しても削除しても手島。

春親 ？

聖子 0904の2の335の88。

湯木に電話をかける。大変な状況だという演技で。

聖子 (電話) 湯木？ 聖子やけど。ごめんないきなり。

春親 ？

聖子 ボレロって居酒屋知ってるやろ？ ワラワラワの

看板のあるビルの。うんごめんちよっと聞こえにく

い！ 店長が灰皿交換に来る。

店長 失礼しまーす。

聖子 今その店入ってすぐ右の座敷にいるんやけど、

湯木ってサッカー好きやんな。今からペレと飲むん。

店長 !!

ペレをありありと意識して一礼して去る店長。

聖子 で後一人早い者勝ちで面子欲しいから湯木早くお

いで。

聖子、電話を切る。

春親 湯木？

聖子 うん。

春親 湯木も来るん？ てかペレって誰？

聖子 ……サッカーの？

春親 サッカーの？

聖子 (知らんと言ってたんか！) ……手島、手島……。

聖子、再び電話。

聖子 (留守電っぽく) あ、聖子です。今、ワラワラワ

で飲んでまーす。

聖子、電話を切る。

春親
ちょっと待って何で嘘つくねん！ 手島ワラワラ
ワ行ってまうやん！ さっきからそれ、何の電話？
まあ。

湯木、大慌てで駆けつけて来る。

湯木
聖子。

聖子
早いな！

春親
湯木。

湯木
おう、春親？

春親
おう、久しぶり。

聖子
何でそんな早いん？

湯木
あっちの席で飲んでて。

聖子
ここで飲んでたんかいな！

湯木
マジで来んの？ 俺でええの？

聖子
ごめん、嘘。

湯木
やっぱり！

春親
どしたん？

湯木
どしたんて、店出ようとしてたところに聖子から電

話かかって来て、ペレが来るって。なあ、嘘って

どういうこと？

聖子
それはごめんで。

湯木
ふざけんなよ！

聖子
今日全部奢るから。

湯木
今食べたところです！

聖子
湯木、教えてほしいことがあるんやけど。

湯木
俺もある。何で昨日変えた俺の携帯番号知ってん

の？

聖子
実はウチタイムリープの脚本書いててさ。

湯木
ほう。

春親
ええ？

聖子
主人公が無尽ループに填ってて何やっても抜け出

せへんってのを書いてて。

湯木
脚本書いてるん？

聖子
……うん。

湯木
そっかあ。聖子も映研らしくなっなあ。

春親
よかったなあ。

聖子
ん？ それで聞きたいんやけど。オチってどうし

たらいいの？

湯木
……ん？ え？ 何？

聖子
いや、時間の繰り返しから抜け出す方法ってどう

やるん？

店長声
カウンター二十名様お帰りです。

湯木
え？ それはそれぞれやろ？ 何か焦ってる？

宮脇
宮脇戻って来る。チラッチラ覗いてくる店長。

湯木さん。

湯木
おー宮脇。久しぶりやな。

宮脇、席に戻って私服に着替える。

聖子 湯木ってタイムリープもののドラマ撮ってんねやろ？

湯木 え？ 何で知ってんの？

聖子 手島に聞いた。

湯木 すぐ喋るなああいつ。

聖子 それどんな話？ どうやってタイムリープすんの？

湯木 ざっくり言うたら、ヒロインがタイムリープできるボタンを発見するねん。ボタンを押したらその日から丁度一年前に戻るねん。一年前に戻りたかったら一年前に戻ってすぐまた押したら二年前に戻るわけ。

聖子 どうやってタイムリープから脱出するん？

湯木 別に無限ループにはまってわけやないから、ボタン押さんかったら普通に時間が進むよ。

聖子 それは全然参考にならんやん。

湯木 うん知らんやん。……聖子の設定やったたら、何かタイムリープを使って運命を変えられることができたら繰り返しから脱出できるとかがええん違^{ちが}う？ どうやって。

聖子 え？

湯木 十分やねん。

湯木 何が？

聖子 同じ十分間を何回も繰り返し返してるねん。

湯木 十分？ えー？ オモんないってそれ(笑)。タイムリープ物は何がオモロいかって言うと、例えば春親みたいな何も持ってない人生を送ってる主人公が、株で儲けて大金持ちとかやな。

聖子 十分やねん。

湯木 十分は厳しいやろ。十分やと話展開しようがないやん。もう少し長くー

聖子 十分や言うてるやん！

春親 ……？

聖子 ごめん。

湯木 どしたん？

聖子 ごめん。

湯木 けど十分ってあれやで。主人公以外の登場人物は十分経ったらあったこと全部忘れるし、何かを作ったり壊したりしても、痕跡もなく元に戻るわけやん。難しいで。例えば何かメモ取っても時間が戻ってしまったら消えてしまうし。誰かのメアドを携帯に登録しても十分経ったら消えるっっちゃうわけよ。

聖子 うん、わかってるねん身に染みて。

湯木 けどこういうの考えるの面白いやろ。

聖子 ああうん(適當)。

湯木 ……主人公の逆境ぶりは結構いい設定やなあ。

聖子 うん、最悪やねん。周りに時間が繰り返してるのと説明しても、十分経ったら忘れるし。ほんで周りの理解力が結構低いねん。

春親 それちよっとオモロいなあ。

内容に感心する湯木、春親。

聖子 どうやって抜け出す？

湯木 そここそ自分で考えな。

聖子 はあ？

湯木 いやだからタイムリープに限らずSFってのは設定が命やから。そこは自分で考えな。そのの辻褄が合ってるかどうかとかは相談に乗ー（聖子に叩かれ）痛！ 何でや。

聖子 次は自転車にぶつかってから呼ぶから。

湯木と飲んでいた相手、塔矢いぶき登場。湯木が忘れていった帽子を持っている。酔っている。

いぶき 監督（帽子を被せる）みんな先に二次会の店に行くって。

湯木 ああうん。（帽子）忘れてた？ 後で追いつくわ。

宮脇 塔矢いぶき……。え？ 何で何で何で!? 塔矢いぶきさんですよね！

いぶき はい。

春親 『超常現象女子サッカー部』！

宮脇 どういうことですか。何で塔矢いぶきがいるんですか！

湯木 今撮ってるドラマに出てくれてるねん。一緒に飲んでたから。

春親の携帯のバイブが鳴る。電話に出て、手島にボレロで飲んでいることを説明。

宮脇 思ってたより小柄なんですね。

いぶき そうなんです。

宮脇 ふたり付き合ってるんですか。

湯木 いやいや。

いぶき 監督のお友達ですか？

湯木 大学時代の映研の同期で。

いぶき もしかして映研の方々ですか？

宮脇 まあどうぞどうぞ。

いぶきを席へ導く宮脇達。春親、電話を切る。

宮脇 「PKの借りは」？

いぶき 「PKで返す！」

宮・春 わあ！

湯木 やらんでええで。

いぶき 何かあったんですか？ 急に走って。

湯木 騙されて呼ばれたんやん。今タイムリープものの脚本を書いてて、ヒントがほしって言われて。

宮脇 脚本ってエロゲの？

聖子 何でそう思ったんや。

宮脇 エロゲってタイムリープもの多いから。

春親 あれ何でやるうな。

宮脇 何でなんですかね。

春親 何でやと思います？

宮脇 ちょ（聞くなよ）。

いぶき 都合がいいから？

宮脇 おお。（等と食いつく男達）

春親 何で何で？

いぶき

ああいうマルチシナリオってね、言うたら大体がハレム状態の主人公がいろんな女の子と仲良くなる話やないですか。例えば最初に転校生と親しくなっただけで、告白して、でエロゲで一番重要なシーンがあっただけで、ほんでクリアして、でまた一からやって今度は生徒会長と仲良くなっただけで、みたいなね。で、ゲームやってるプレイヤー側にはさっきの転校生といい感じになった記憶もあるわけですよ。

春親 そっかそっか。ゲーム内の主人公も同じようにその記憶がある方が共感できるから。

宮脇 あー。

いぶき そうですそうです。

宮脇 いぶきさん、なかなかいける口ですね。

いぶき こういう話大好きなんです。

無の顔の聖子。

いぶき ……（聖子に）どうしたんですか？

聖子 この回は捨てることにしました。

いぶき ん？

湯木 十分の繰り返しをやりたいたって言うてて。難しいって言うてるねんけど。

宮脇 エロゲで十分かあ。

いぶき 十分？

湯木 十分の繰り返しやねん。

いぶき えー。何もできへんね。

春親 何もって（笑う）

いぶき ……2ちゃんねるにそういうのありませんでした？

聖子 ？

宮脇 あれでしょ。『繰り返し男』！

いぶき あーそれぞれ！

湯木 見た見た！

聖子 何それ。

宮脇 2ちゃんねるのまとめサイトで『繰り返し男』って話があるんですよ。

いぶき あれめっちゃ面白かった。全然面白くなくて。

春親 どっちゃや。

聖子 宮脇、何それ。

宮脇、何それ。

宮脇 同じ時間の繰り返しから抜けだせないって話なんですけど、それも確か十分間なんですよ。

聖子 え？ どんな話？

いぶぎ 時間が巻き戻る時間が近づいてきたら激痛が走りますよ。ね。

宮脇 そうそうそうそう！

聖子 で？

宮脇 で、繰り返したびに痛みが強くなるんですよ。

聖子 それ主人公はどうやって繰り返しから抜け出すん？

湯木 え？ ……何やったっけ。

いぶぎ ミッションがどうか。

宮脇 そうそうミッション遂行したら繰り返しから抜け出せると。

湯木 せやせや。

聖子 ミッションって？

春親 エロゲってミッション系の学校多いよな。

* 多いよなー！

聖子 そっちに話を戻すな！

いぶぎが元の席に忘れていた帽子を店長が持って来る。

店長 いぶぎちゃん。これ、違う？

湯木 いぶぎも忘れてるやん。

いぶぎ あ、ありがとうございます。店長さん。(湯木に)

えへ。

宮脇 店長さんタイムリープって知ってます？

春親 宮脇(悪ノリするなよ)。

店長 タイムリープってあの時間を繰り返す？ ……こ

こら一帯、昔から時間が不安定な場所ですてね。

春親 え？ 知ってんの？

店長 お客さんがよく終電を逃してますわ。

春親 ……それ、ただ酒飲んで帰られへんようになっただけやん。(店長、不敵な笑み) 笑ってるで。

店員、去る。

春親 何の話やったっけ。

湯木 エロゲにタイムリープ多いって。

聖子 繰り返しから抜け出すためのミッションって何なにかって話！

湯木 そっちやそっちや！(笑う) 繰り返ししてた。

いぶぎ 繰り返し男(笑う)

宮脇 ありますわ。(スマホを見つつ) ミッションが与えられてて。

宮脇 繰り返しっていうのはいつも同じ時刻に戻されるから、必ず同じ場所でも同じ場面から開始されるんですよ。

うん。

聖子

宮脇 戻って一番最初に飛び込んでくる誰かの願望、そ

れ叶えることが繰り返してから抜け出すためのミッ
ションみたいです。
ミッション？

春親
（ボン）戻ってすぐって、確か春親がブタタロー
の脚本を読みたいとかどうとかー

春親
何でミッション系ってエロいんやろうね。

聖子
おもんないねん！
！（シヨック）

宮脇
関西でそれ言うたら駄目ですよ。

手島到着。手には封筒と紙袋、頭に紙吹雪。春親と
同じ服を着て来る。

手島
聖子、ワラワラワ違^{ちが}うやんけ。

湯木
おう手島。

手島
おお湯木。何でおるん？

湯木
いや、え？

聖子、頭痛。

手島
わ、服一緒や！

春親
……。

手島
……いや。ええ？ いや、ちょ、凄くないこれ？

湯木
そんなもん？ リアクションそんなもん？ ほら！

靴下まで一緒や！ ……あれ？

湯木
それ（紙袋）何？

手島
……ワラワラワ行ったら十万人目の客やって。めっ

ちゃ出づらかってんぞ。

時間が巻き戻る。暗転。

エピソード6

聖子、テーブルに突っ伏した状態。手にはアルバム。

春親、煙草の箱を取り出すが、空箱。

春親

ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっ
ちゃ読みたくなってきた。（煙草）ないわ。誰か
コピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。

聖子、睨む。

春親

……どしてん？

聖子

手島と湯木は脚本捨てたって。で、宮脇に頼んで
三年前に卒業した映研の紀藤君って子に連絡して
もらって、紀藤君から今の映研部長の宇和島君の
連絡先を覚えてもらって、宇和島君にブタタロー
の脚本残ってないか聞いたたら、棚捨てる前に映研
のOBの人が来て脚本ほしいて言うから渡したっ
て。その時部室におったんは現役一回生の牧田君っ
て子で、宇和島君にその一回生の牧田君の連絡先
を聞いて、持って帰った人のこと聞いたたら、背の
高い人で、名前確か高遠さんやったと思うって言
うねんけど、高遠さんがいつの時代の人かわから

へんねん。

間。

……え？

……。

え？

聖子

何でウチが脚本探してここまでしんどい思いせな

春親

あかんの？ あんた高遠さんって知らん？

春親

いや。え？ いやいやええで。ちょっと読みたい

なって思っただけやから。

聖子

ハァア!? 「絶対必要や」て言うてくれた方がま

だ救われるわ。

春親

聖子？ 何々？ 何でいきなりそんな不機嫌なん？

え？ 俺何か要らんこと言うた？

聖子

もういいって。言うだけ無駄やし。

店長、灰皿交換に来る。

店長

失礼します。

店長と春親、顔を見合わせる。

春親

……何か頼むか？ 聖子。

聖子

……。

春親

すいません、お茶もらえます？

店長

はい。すぐお持ちしますね。

頷く春親。店長、去る。春親、携帯を出す。

春親

あ、手島から電話着信あったわ。(電話) もしも

し。……ごめん電話くれててんな。……今？ 聖

子と宮脇が来てる。もう駅着いた？ はいはい。

えっとな。「ワラワラワ」の看板見えてる？

春親の言葉を丸暗記している聖子、口パクでハモる。

店長、それが目に入る。

春親

……え？ 何処や。今何見えてる？ ……自転車

乗ったおっさん？ できたら動かん物がええな。

ジャンカラの前？ その隣。……違ちがう違ちがう、そっ

ちやなくて、そうそうあるやろ看板。そのビルの

四階に「ボレロ」って店あるわ。エベ、エレベー

ターがあるから。出て左っかわ。四階の「ボレロ」。

……ああ、聖子の名前で。おう待ってるわ。あ、

手島手島手島、来る時な、煙草買って来てくれへ

ん？

聖子

やあああ！

聖子、座布団を春親に投げる。

春親

え？ 何？

聖子

……何かが変わるかと思ってる。

春親

え？(苦笑) ちょ、何なん？ もしもし？ あ、

切れてる。

店長声

カウンター二十名様お帰りです。

春親

珍しいな、そんな風になるまで酔うって。 仕事

で何かあった？ じゃあそんな聖子に。

春親、鞆から包みを出す。聖子、何も言わず、流れ作業的に包みをテーパールの横へよける。

……えー？ 誕……。

……。

どうした聖子。仕事大変なんか？ ばあっとどっか行くか？ 聖子、明日はどうしてんの？

聖子 明日なんか来おへんねん！

春親 どうしてん。……何か悩みがあるんやったら聞けど。

聖子 説明したって全然わかってくれへんやん！何でウチばかり。チカちゃんも一回くらいタイムリープ

プしいや！ 何で誰もタイムリープに気づかへんのよ！

春親 え？ タイムリープ？ 何？ 聖子？

聖子 何処触ってんのよ！

その様子を見ていた宮脇と店長。

何やったんですか。

春親 いや違うって。……え？ どしたん急に。

聖子 部屋の脚本誰が持ってたか聞いて、持ってたっていう後輩の連絡先聞いて暗記して、連絡して、別の後輩がOBが持って帰ってたって知ってるって言われて、また連絡先聞いてって、十分の間に何回も何回もやるのがどれだけ大変かわからんやろ！

あんたらが「靴下まで一緒や」とか言うて盛り上がってる横で何でウチだけこんなことせなあかんのよ！

石川慌てて登場。尻を気にしている。

石川 あの。すいません。

春親 はい？

石川 今、タイムリープがどうとかって聞こえて来たんですけど。

聖子 ？

石川 もしかしてタイムリープしてる人、います？

春親 ……え？

聖子 してます。

石川 え？

聖子 してます。

石川 ……繰り返してるんですか？

聖子 ……はい。……繰り返して？

石川 ……はい。(安堵で膝から崩れ落ち) うおおお。

聖子 ああ。……ああ。

春親 え？ どしたん聖子？

聖子 これ、何なんですか!?

石川 いえ、僕にもさっぱり。……あ、あの、繰り返してる時間って。

春親 繰り返してるって何？

聖子 十分です。

石川 一緒。一緒です！ 何回繰り返してます？

聖子 十五か十六回目やと思うんですけど。

会話に入りたいが入れず、けど食らいつきたい春親。

石川 十六回目です！ 一緒です。良かった。もうずっと

と抜け出せへんし、どうしたらええんかと思つて。

そら何回繰り返してるかわからんようになります

よ。メモも残せへんし。

春親 聖子の知り合い？ え、どしたん？ 何があったん？

石川 彼ら（春親と宮脇）は繰り返してはいない？

聖子 ええ。

春親 （指折り数えるように）どしたん何があったん!?

どしたん何があったん!?

!?

聖子 チカちゃんチカちゃんチカちゃん！ 追いつこう

とせんでもええから。チカちゃん、ちよつとそつ

としいて。

だって、初対面ってわりにはえらい意気投合して

るし。聖子、この人誰？

石川 （春親）大丈夫です。十分後にちゃんと事情説明

しますから。

春親 はい（安心）。

石川 取り敢えず落ち着きましょう。

春親 すいませーん。

店長 はーい。

店長来る。

宮脇、髪型を崩し、私服に着替える。

店長 大丈夫ですか？ 向こうまでお姉さんの悲鳴が聞

こえましたけど？ いいですか？ 警察呼ばなく

て。

聖子 大丈夫です。

春親 生でいいですか？

石川 え？ ええ。

宮脇 僕も。

春親 生二つ。

店長 生お二つ。かしこまりました。

店長、去る。

宮脇 ん？（誰？）

石川 あ、僕、石川って言います。

聖子 大橋聖子です。

春親 山下春親です。

宮脇 一史です。

石川 ……何かこうなったことに思い当たる節は？

聖子 いえ。

石川 僕も何も手がかりなくて。

手島到着。手には封筒と煙草。

手島 おう。

春・宮 遅いー。

手島 いや、来る途中急にどっちが前かわからんようになって。

春親 そっかそっか。

手島 そっかそっか？

宮脇 ちよっと。何で二人服一緒なんですか！

春親 うわ！

手島 嘘やん何これ！

春親 下も!? え? イオン?

手島 イオン。

春親 無印の隣の?

手島 無印の隣の! マネキンがー

春親・手島 着てた奴!

手島 凄いなこれ! これ、マネキンが着てたこれ(シャツ)とこれ(ズボン)がカブるんは可能性なきにしもあらずやけどさ、何で靴下まで一緒やねん!

春親 あり得へんわ!

聖子 毎回このやりとりを見せられて。

石川 ああ。

聖子 で、手島が一瞬どや顔でこっちを見て来るんです。それが気持ち悪くて。

石川 ……ああ。ずっとこんな感じですか？

聖子 ええ。もうちょっと真剣に話ができる雰囲気やったらいいんですけど。

石川 いやでも、他も賑やかやし。二人を何とかした方がいいですね。取りあえず、次もここに来ますんで。

聖子 すいません。どの位で来れますか？

石川 え？

聖子 できるだけ早く……。

石川 できるだけ早く、はい。

聖子 ホンマにできるだけ早く。

石川 ああ、はい(そこまで言うなら)。

手島 (春親に)誰? 聖子の知り合い?

春親 初対面らしい。

手島 そうなん?

聖子 大学時代同じサークルにいて。

石川 です。

手島 手島です。……(春親に蒲鉾を渡す)はいこれ。

春親 え? 何これ。

手島 蒲鉾。

春親 何で?

手島 何でって電話で買ってきて来てくれたって。違うわ! 誰がそんなもん頼むねん。た・ば・こ!

手島 よう見つけたなあこの繁華街で。……なんぼ？

手島 千六百元。

春親 高級蒲鉾か！ 何処で買うて来てん。

石川 毎回これを……。

聖子 いえこれは初めてです。

春親 今ないから後で払うわ。

手島 あ、さっき下でがっしやーんって音がして、ぱって見たら思いつきしこけてる人がおってさ。よう見たら湯木でさ。

春親 湯木？

手島 うん、声掛けようかと思ってんけど、蒲鉾買うてる間に見失っでもうて。自転車の奴吉野家の前で停めて店入ってたのに、湯木そのままパー向こう走ってって。

宮脇 今日ってこっただけですか？

手島 米さんがこれたら来るって言うてたけど。

春親 米さん来るん？

手島 来るなら着いてなおかしいのにな。

宮脇 手島さん、生？

手島 おう。

宮脇 すいませーん。

店長声 はい。

石川 ……十分。なんですよ。

聖子 ええ。毎回頭が痛くなつてしたら時間が戻ってるんです。それもだんだん痛みが激しくなつてて。

石川 頭が痛くなるんですか？

手島 十分？

聖子 ならないですか？

石川 頭じゃなくて。

聖子 そっか。

石川 散々やったんやないですか？

聖子 そりやもう。こいつらは全然信じてくれへんし。

石川 まあ口で言うても難しいでしょうね。同じ時間を経験したってことを証明すればわかってもらえま

すよ。

聖子 それが奇跡的な位裏目に出て駄目なんです。

手島と春親が双子のような格好で聖子達を見ている。

店長登場。

店長 はい。

生二つ。

店長 生お二つで。これは、さっきのとは別に？

春親 別です。

かしこまりました。さっきのすぐお持ちしますね。

店長去る。

石川 そろそろ（時間）やばいですね。ほんなら次来た時には知り合いつてことにします。

聖子 そうですね。

石川 血縁の方がいいかな。ご兄弟っています？

聖子 兄が。

石川 彼らはあなたのお兄さんと面識は。

春親 ないよな？

手島 うん。

聖子 ほんで急を要する大事な話とかを振ってくれたら。

石川 あ、でもそれ逆に食いつきませんかね。絡むのや

めとこって思わせれたらいいんか。要はこの三人

にすぐ席を外した方がいいって思わせる状況に持っ

てくようにしたらええってことですよね。

宮脇 こんな目の前でハブにする相談されたことないん

ですけど。

手島 逆に清々しいな。

聖子 (頭痛がして) じゃあお願いしますね。

春親 聖子？ やっぱおかしいわ。

石川 んんんん！ んんんん！

聖子 ……。

四つん這いで尻を押さえて痛みを訴える石川。それ

を目の当たりにする聖子。

石川 んあああああー！

聖子、倒れ、時間が巻き戻る。暗転。

エピソード7

聖子、テーブルに突っ伏した状態。手にはアルバム。

春親、煙草の箱を取り出すが、空箱。

春親

ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっ

ちゃ読みたくなってきた。(煙草)ないわ。誰か

コピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。

聖子

あんな。

春親

どしてん？

聖子

もうすぐな、ウチのお兄ちゃんが来るねん。

春親

何処に？

聖子

ここに。チカちゃん、ウチのお兄ちゃん知らんや

春親

んな。

春親

さっき連絡あってな。ちょっと話があるらしくて、

多分十分くらいで話終わるから来たらちよっと席

外してほしいねんけど。

あ、うん、別に来てくれても全然。

いやホンマちよっとそれは。

春親の携帯のバイブが鳴る。

(電話) もしもし。……お疲れさん。

店長、灰皿を替える。

店長 失礼しまーす。

春親 ……今？ 聖子と宮脇が来てる。もう駅着いた？
はいはい。えっとな。「ワラワラワ」の看板見え
てる？

店長 (聖子に) 注文お連れ様揃ってから……？

聖子、頷く。

春親 ……え？ 何処や。今何見えてる？ ……自転車
乗ったおっさん？ できたら動かん物がええな。
ジャンカラの前？ その隣。……違^{ちや}う違^{ちや}うそっち
やなくて、そうそうあるやる看板。そのビルの四
階に「ボレロ」って店あるわ。エベ、エレベーター
があるから。出て左^{ひだり}っかわ。四階の「ボレロ」。

石川、息を切らし、バニーガールの格好で登場。吹
き出す聖子。

春親 え？ ……ああ、聖子の名前で。はいはい。

春親、電話を切る。

石川 聖子。

聖子 (やめて)。

春親 あ、聖子のお兄さん？

石川 探したぞ聖子、おかんが倒れた。

聖子 あ、いや。

春親 聖子のお母さん……って聖子が小さい頃に亡くなっ
たん違^{ちや}うかった？

石川 ……亡くなったおかんのお墓が倒れた(春親にど
や顔)！

春親 ？

石川 墓参りに行ってた親父が下敷きや。

聖子 春親。こういう訳(壊れた兄が来た)やから席を
外してほしい。

春親 あ、うん。煙草買って来るわ。

春親、店の入口へ。

店長声 カウンター二十名様お帰りです。

聖子 何でそんな格好……。

石川 これちょっと説明するのに時間かかりそうで嫌な
んですけど、この店の隣に嘘みたいな店がありま
して。

聖子 あ、わかりましたわかりました。

石川 え？ そうなんですか。あ……(ご存知で)。

聖子 行ったことないですよ。行ったことないですよ。

石川 ああ……。できるだけ早くってことやったから着
替えずに来たんなんですけど。まじかったですよね？
はい……。すいません、母親いないこと言うてお
けばよかったのに。

石川 こちらこそ、雑な嘘しかつげなくて。大事なお友
達に対して変なお兄さん像を。

聖子 でもどうせ忘れるし。

石川 そうですよ。

聖子 そういふご趣味が。

石川 違いますよ。これは。僕、弟がいるんですけど。

何処に住んでるんか連絡つかなくなってます。

この近所で何回か見たって情報があってそれで、この辺の店一軒一軒当たって。

春親声 おう、湯木やんけ！ びっくりした。何してんねん！

湯木声 おお！ 春親！

宮脇声 あれ？ 湯木さん！

春親達の声が大きくてうんざりする聖子。

聖子 知り合いがあっちの席におって。

石川 ああ……。

いぶき声 監督のお友達ですか？

宮脇声 湯木の彼女？ 彼女？

湯木声 いやいやいや。

春親声 俺らそっちの個室で飲んでてん。聖子もおるで。

湯木声 そうなん？

春親声 あかんあかんあかん。

湯木声 何？ 入らへんの？

春親声 うん、あ、今聖子のお兄ちゃんが来てて、多分聖子、見られたくないと思うねん。

石川 次は彼を店の外まで出しましょう。

聖子 適当にやってみます。

石川 何かわかったことありました？

聖子 八時五十分から九時の十分間を繰り返してて。ウチ以外のみんなはそれに気づいてないんです。

石川 僕も一緒です。僕と聖子さん二人だけなのかも知れませんが。他にもいたら心強いんですけど。

春親達が覗いているのに気づく。

石川 ……。

ひっこむ湯木達。

聖子 でも一人じゃないってだけで全然違いますよ。

石川 そうですね。

湯木声 聖子のために俺らにできることないかな。

春親声 理解者になってあげるだけでも違うと思う。

宮脇声 僕、全然変やと思わなかったですよ。

いぶき声 可愛かった。

真面目に聖子を心配する会話が聞こえてくる。

聖子 ……すぐわかったんですか？ 繰り返してるって。

石川 二回目の終わりくらいで。

手島声 おう、湯木やん。

湯木声 手島、久しぶりやな。

春親声 偶然ここで飲んでてん。

湯木声 二人、服一緒やん！

手島声 え？ わ！ 嘘やん何これ！

春親声 下も!? え? イオン?

手島声 イオン。

石川、パニーの格好で通路に姿を見せる。静かになる春親達。

石川 ……今までお互いが繰り返しの中で得た情報をシェアしませんか。

アしませんか。

聖子 そうですね。石川さんはこれまでの繰り返しの中で何してたんですか?

石川 何してた……。僕はね、駅までダッシュしてました。

聖子 ダッシュ? もしかして、その格好で?

石川 あいや、この格好でも四回目の時に試してみたんですけど、途中不審者に間違われて止められたから、服だけ着るようにしました。

聖子 あ、四回目で既に走ってたんですか?

石川 ええ。全力疾走したのに時間が戻ったら疲労が全部リセットされてて、凄くなって思ってた。ほんでさっきの回到店出る時慌てて着替えがもたついで、そしたら店出た時に「タイムリープしいや」って声が聞こえてきたんで、覗いてみた次第で。

聖子 ああ。……何かあったことありました?

石川 町中全力で走ってたら、逃げてるって思われて本気で追いかけるくらいですね。

聖子 ウチの方は2ちゃんのまとめサイトに時間を繰り返した男の話があるって。

石川 まとめサイト?

聖子 時間が戻る直前に激痛が走るとか似てるんですよ。で、その人が繰り返しから抜け出せたのは、何かね、時間が戻ってすぐに実はミッションが出されて、そのミッションをクリアするのが条件らしいんです。

石川 ミッション?

聖子 で、ウチは春親って、さっきそこに座ってた……。

石川 はい。

聖子 春親に、ウチらが大学の時代に部室に置いてたノートがあったんですけど、今何処かに残ってないかってことを言われるんです。

石川 ……ああ、絶対そっちですね。駅まで走るとかじゃないですね。根拠ないし。

店長、石川にお絞りを持って登場。

店長 湯木君のお知り合いやったんですね。おツレの方あちらの席に移動されますよ。

聖子 ああ。

店長 (石川の格好に) お散歩のオブション付きコースですか?

石川 いえ……。

店長、去る。

石川　で、その聖子さんのミッションは実現可能そうですか？

聖子　それが、今辿ってる途中で。

石川　ノートを？

聖子　ええ。今OBの高遠さんって人が持つてるっぽいって情報までは掴んだんですけど、その人の連絡先がわからなくて。何せウチら卒業してだいぶなるんで、いつのOBかもわからないんです。

石川　成程。もう少し具体的に聞いていいですか。

聖子　はい。

石川　ノートには何が書かれてるんですか？

聖子　脚本です。

石川　脚本。

聖子　ウチら大学の時映画研究部やったんです。

石川　ほう。で、春親さんがそれを読みたいと？

聖子　はい。

石川　そのミッションって一言一句覚えてます？

聖子　え？　えっと、『ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっちゃ読みたくなるやん。誰かコピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや』……聖子さん。脚本が捨てられてて、コピーでも何でもいから読めたらいいってことですよね？

聖子　そうですそうです。

石川　書いた本人が持つてないんですか？

聖子　書いた本人は、……もういないんです。ブタタローは、大学四回の時に……。

石川　……ああ。すいません。

聖子　あ、いえ。石川さんは最初どんな状況ですか？

石川　ツレが毎回「ぐっと飲めよ」って言うて来て。

聖子　あ、じゃあ毎回ぐっと飲んで来て下さい。

石川　わかりました。ぐっと飲んで来ます。走れるかな。

聖子　あの、因みに何で駅までダッシュしてたんですか？

石川　昔、好きやった女性が確か隣の駅に住んでたって

聖子　言うてたなあと思って。取りあえず行ける所に行っ

石川　てみようと思って。隣の駅まで辿り着いたら何か

聖子　が変わるかもって。けど、どんだけ頑張って電車

石川　に乗っても電車が発車する前に九時になってまう

聖子　んですよ。

石川　それって九時発やからじゃないんですか。

聖子　（ハッ）!?

石川　湯木達が覗いているのを見て、

聖子　（外野に）もうええから入って。

湯木　湯木といぶきと手島が入って来る。

湯木　よ！　聖子。久しぶり。

湯木　湯木、久しぶり。

聖子

湯木 変わってへんやーん。みんなと会って、向こう移動したから。(石川に) あ、ども初めまして。妹さんと大学で一緒やった湯木と申します。

聖子 で、同じく映画研究部で一緒やった手島と、湯木と一緒に仕事している塔谷いぶきさんです。

いぶき 知って下さってるんですね。はじめまして、塔谷いぶきです。

石川 あ、ども。オオ……、(苗字忘れた) 聖子さんのお兄さんです。

湯木 ブタローの脚本って聞こえたけど、あれか？俺らで撮ろうとした奴。

聖子 うん。

湯木 懐かしいな。

いぶき 大学の時ですか？

湯木 うん。

聖子 なあ湯木、映研の卒業生で高遠さんって人知ってる？ 知らんわなあ。

いぶき ……高遠さんって背の高い？

聖子 そう！ ……どうしていぶきさんが知ってるんですか？

湯木 高遠さんって、確かいぶきが付き合ってたって……。付き合ってた!?

いぶき え？ はい。

聖子 え？ じゃあいぶきさん。(頭痛) あああ。

石川 (お尻が痛くて) んんんん！ じゃあ、次の回が始まったらすぐに。

聖子 はい！

石川 んんんん！ んんんんん！

聖子 (尻を向けられて) ……。

湯木 (外に) すいません、救急車。

石川 うやあああああー！

時間が巻き戻る。暗転。

エピソード8

聖子、テーブルに突っ伏した状態。手にはアルバム。

春親、煙草の箱を取り出すが、空箱。

春親 ブタローの脚本捨てられたってなったら、めっちゃ読みたくなってきた。(煙草) ないわ。誰か

コピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。手島な、……ストーカーやねん。

聖子 え？

春親 ウチが春親を好きって知って、手島は春親をストーリーキングするようになって。

春親 どうしてん？ え？ どういう意味？

聖子 「俺が春親になったら好きになってくれるか」っ

て言われて、最初意味わからんかってんけど。

聖子、携帯に届いた手島の写メを見せる。

「今日の春親の格好です」って。そういうのが毎日送られて来んねん。

……。

ジブン、盗撮されてんねんで！

！

……折角の同窓会やからウチ来てんけど、手島が店に来るの、怖い……。

春親 (ボソ) ちょっと行って来る。

春親、立ち上がって、怒りを露わに出て行く。聖子、小さくガッツポーズ。石川登場。バニーガールの尻

尾がはみ出していることには気づいていない。

石川 服着て来るとどうしても遅くなりますね。

聖子 石川さん。

……今、そこで彼とすれ違いましたよ。凄い勢いでしたけど、上手くいったんですか？

聖子 二人まとめて。……あ、(お尻) 大丈夫ですか？

殆ど限界です。先程の女性の方呼んでもらえま

した？

いえ。

石川 わかりました。

石川、出て行く。

店長、灰皿を交換しに来る。

店長 失礼します。

聖子 すいません。

店長 はい。

トイレの前に立ってるスーツの男の人が怪しいんですけど。何か盗撮してるみたいで。スマホかなかで。

店長 え、そうですか。わかりました。

店長、去る。

石川、湯木といぶきを連れて戻って来る。

石川 こちらです。

湯木 おー聖子！

聖子 久しぶり。

(いぶきに) 大学の映研の同期やねん。聖子、俺のこと覚えてたん？ この人は？

石川 初めまして。私、聖子さんの同僚で石川っていい

ます。

湯木 聖子、いぶきの大ファンなんやて？

聖子 え？

(いぶきに、聖子と) 写真撮ってあげて。

いぶき、聖子の横に並ぶ。

湯木 (スマホを構え) PKのー

聖子 PKで返す！ PKで返す！ ありがとうござい

ます！（大急ぎで）

湯木 聖子、何で俺らが向こうにいること知ってたん？

いぶき、聖子のこと知ってるの？

いぶき 初めてですけど、知って下さってるんですね？

聖子 いぶきさんが高遠さんっていう映画のOBの人のことを知ってるって聞いたんです。

いぶき 高遠さん？

聖子 以前お付き合いをされていたんですよね？

いぶき ……はい。

湯木 へん？

聖子 実はある脚本を探してまして。ウチ、湯木と同じ

大学で映画にいたんですけどね、部室に歴代の部員が書いた脚本が保管されてたんですけど、そのうちの、ブタタローっていたんですけど、ブタタローが書いた脚本を高遠さんが持って帰ってるみたいでして。その本がどうしてもすぐに必要なんです。でも高遠さんにどうしても連絡取れなくて。いぶきさん、連絡とれないですか。

いぶき まあ、それはできますけど。脚本がすぐに要るっていうのはどういう……。

石川 この方の婚約者が、その脚本を見つけないと手術

を受けないと言ってるんです！

聖子

いぶき 婚約者の方が手術を？

石川 高遠さんにすぐに電話してほしいんです！ 急ぎ

なんです！

いぶき 彼氏さん、病気なんですか？

石川 ずっとこうがんの治療を。

聖子 抗癌剤ですね。

石川 一刻も早く手術をしないと、今こうしている間にも

彼氏さんの体はどんどん悪くなってる。

湯木 聖子婚約してたんや。

聖子 うん。いぶきさん、お願いします。

湯木 いぶき酷いフラれ方したんやろ？

いぶき ……わかりました。

湯木 いぶきええんか？

いぶき、頷き、電話をする。

いぶき もしもし、リキ？ いぶきです。……久しぶり。

聖子 ……。

いぶき ……そやね。うん、ごめん。あの時はちょっと、私どうかしててん。ごめんな。お兄さんと二股かけたみたいになってしまっ。

湯木

！
あの、急いでるんです。

聖子 あの、急いがあるねんけど。大学の映画の部室か

ら脚本を持って帰ったと思うんやけど。……幾つ

か持って帰ってんの？

聖子

ブタローです。

いぶき

ブタローさんの脚本。

聖子

二〇〇〇年の夏に書いた奴なんですけど。

いぶき

……二〇〇〇年の夏に書かれた脚本みたい。……

聖子

うん。(聖子に)『リテイク』って題名ですか？

いぶき

それです！『リテイク』や。

聖子

それやって。……(聖子に)持ってるみたいです。

いぶき

あ、え？

石川

そこにFAXってありますか？

湯木

はい、寝室に。

石川

じゃあ、今から言う番号にFAX送って下さい。

いぶき

071の6434の……。

石川

(電話に) FAX送ってほしいねんけど。メモして。071の6434の。

いぶき

……(聖子に)送ってくれるって言うてます。

石川

2206。

いぶき

2206。

石川

……(聖子に)送ってくれるって言うてます。

いぶき

……(聖子に)送ってくれるって言うてます。

石川

……(聖子に)送ってくれるって言うてます。

いぶき

……(電話に)ありがとございます。……はい。はい。幸せになってね。

いぶき、電話を切る。

湯木

聖子、気をしっかりな。

聖子

湯木もな。

湯木

……。

いぶき

……『リテイク』？

聖子

ん？

いぶき

ん？ その台本、高遠さんが私に読ませたくて、活字に起こしたPDFを前にLINEで送って来てたはずですよ。

聖子

早く言うてほしかった。

聖子

春親、いつの間にか立っている。

聖子

(春親に気づいて)春親！ ええとこに。

春親

春親、財布からレシートを出して聖子に見せる。

春親

服……。俺より手島の方が買った時間が早かった。

春親

春親の後ろから手島、よろよろになって現れる。散々殴られた跡。春親も手島も肩で息をしている。

手島

手島、よろめきながらレシートをピラピラしている。

春親

聖子どういことやねん。

手島

聖子、俺は何で殴られたんや!?

春親

どういことやねん。

湯木

春親。

湯木

湯木？

湯木

いきなり湯木が立ったため、湯木の存在に気づいて

湯木

湯木？

湯木

湯木？

湯木

湯木？

湯木

湯木？

湯木

湯木？

いなかった春親、驚いて一瞬笑う。

春親 何で湯木がここにおんねん。湯木もグルか。

湯木 何が！

春親 説明する気もなしか。

春親、湯木と揉める。

店員、青ざめた宮脇を連れて来る。

店員 何でお連れさんをハメたんですか。

宮脇 (べそかいて)！

聖子 春親、ブタタローの脚本手に入れたで。 題名は

『リテイク』や。

春親 はあ？

聖子 探してくれて言うてたやんか。

湯木 !? 春親と聖子が(婚約)？

春親 何を言うてんねん。さっき言うたもん何でそんな

すぐ見つかるねん！

聖子 ウチが時間繰り返してるからや！

春親 はあ？

聖子 チカちゃん。ウチ、今同じ時間何回も繰り返して

んねん。八時五十分から九時までの十分間を何回

も。九時になった瞬間にまた八時五十分に戻って。

意識だけが戻るねん。

春親 何やねん時間繰り返すって。酔うてるんか？

聖子 いろんなパターンやって来てんねん！ そのうち

の何回かチカちゃん、ウチに誕生日プレゼント渡

して来たし。熊のぬいぐるみ。その鞆に入ってる

やろ。手島は最近ドロロン買った。やろ？ 財布

の中の小銭はちょっつきし四百六十円！ 湯木はサッ

カーにはまってる。昨日携帯変えて番号変わった。

全部ウチが知らんはずの情報やろ？

春親 何を言うてんねん。

湯木 春親、手術受けろって。

春親 は？ あ、わかった。あれやろ、俺、アホやから、

何処までありえへん嘘ついても信じるかって実験

か……。ホンマは事前におまえら打ち合わせして

たんやろ！

手島 こんなマジで殴られる仕掛人やらんわ！

石川、紙を持って嬉々として戻って来る。

石川 FAX来ました。(場が荒れていることに)？

いぶき お店の番号やったんですか？

店長 (FAX) それ……。

春親 それか今こうやってんのを隠し撮りして湯木の番

組で使うとか違うんか。芸能人も来てるやんか。

どっかにカメラあるん違うんか。

塔矢いぶきや……。

宮脇 おまえらのせいで俺はなあ、何の罪も手島を裏拳

で殴ってもうてんぞ！

いぶき 命を大事にして下さい！

聖子 ホンマに時間戻ってんねんで！

春親 ほな俺らの目の前からパって消えて、五秒後にパって現れてみてくれよ。そしたら手品やないって証明できるやろ！

聖子 せやからそういうのと違^{ちが}うんやて！ 自分の記憶以外に変化を残せるものがないねんから。ほな、ウチが何で知ってるんか説明してや。何で信じへんのよ！ 信じてよ！

春親 ホンマに過去に戻るんやったらさ……、俺をあの十五年前の事故の日に戻してや。

聖子 ……。

春親 俺が予備のテープさえ持ってたらあんな事故、起こらんで済んだんや。時間が戻せるんやったら戻してくれや。

聖子 ……十分しか戻れへんねんで。

春親、熊のぬいぐるみのプレゼントを叩きつけて出て行く。

石川 ……事故？

聖子、頭痛。

聖子 痛っ！ もう！ 何ですよ！ 脚本の場所見つかっ

たやんか！ 何でまた時間戻るんよ！

湯木 (頭痛に) どうしてん聖子。

聖子 (頭が痛くて) うう……。

石川 春親さんとちゃんと話した方がいいですって。僕つぎ、別のこと調べてますんで。

聖子 (お尻を痛がっていないので) 石川さん!! 痛くないんですか!?

石川 聖子さん!?

石川 腕時計を見る。

湯木 (お尻が痛くないことに) え? 聖子さん!! 救急車!

聖子、倒れ、時間が巻き戻る。暗転。

エピソード9

春親 十九回目の八時五十分。聖子の手にはアルバム。春親、煙草の箱を取り出すが、空箱。

春親 ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっちゃ読みたくなってきた。(煙草) ないわ。誰かコピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。

聖子 ……。

春親 どうしてん?

聖子 ……。

じっと俯く聖子。春親、アルバムを手に持つ聖子を気にして。

春親

残念会懐かしいなあ。……スキー行った時の写真もあるやろ。聖子この頃から調子乗り始めてたよな。ブタタロー、笑ってる……。あ、違^{ちが}うわ、これ雪だるまや。……聖子、どしてん？

春親の携帯のバイブが鳴る。

春親

もしもし。……お疲れさん。

店長

失礼しまーす。

店長、灰皿を替えに来る。

春親

……今？ 聖子と宮脇が来てる。もう駅着いた？

はいはい。えっとな。ワラワラワの看板見えてる？

……え？ 何処や。今何見えてる？ ……自転車

乗ったおっさん？ できたら動かん物がええな。

ジャンカラの前？ その隣。……違^{ちが}う違^{ちが}うそっち

やなくて、そうそうあるやろ看板。そのビルの四

階に「ボレロ」って居酒屋あるわ。エベ、エレベー

ターがあるから。出て左っかわ。四階の「ボレロ」。

……ああ、聖子の名前で。おう待ってるわ。あ、

手島手島手島、来る時な、煙草買って来てくれへ

ん？ 違^{ちが}うわ！ 誰がそんなもん頼むねん。た・

ば・こ！ タスポある？ メビウス。うん、一箱。

はい、待ってるで。はいはい。（電話を切る）

手島、もうすぐ来るって。聖子？

じっと俯いたままの聖子、涙が零れる。

春親

……え？ 泣いてるやん。

聖子

……。

春親

え？ 何処で？ 何で？ 何があったん？ 聖子？

店長声

カウンター二十名様お帰りでーす。

鼻を吸る聖子。

春親

俺、何か要らんこと言うた？

聖子

何笑ってるの？

春親

ごめん。

聖子

怒ってたやん。

春親

俺？

聖子

何全部忘れてんの？

春親

……え？

聖子

事故の話や。

春親

事故？ 事故って何？ 事故あったん？

聖子

……。

春親

事故って、十五年前のバスの事故？

聖子

あの事故、もしかして自分のせいやと思ってるの？

春親

何？ いきなり。

聖子、立ち上がって怪我した足を引きずって、春親

の横まで移動する。（観客にはここで初めて事故が

ブタタローではなく聖子に関するものだとかかる）

……あの日ウチがうっかり小道具のコップを動かしてもうて、だいぶしてから気づいて、けどその

日の撮影でテープ使い切ってて……。

春親、慣れている仕事で足の不自由な聖子の移動を助ける。接近して腰を下ろす二人。

聖子 ……ウチが自分からテープ買いに行くって言うて、ウチの不意でバスの前に飛び出したんやん。チカちゃん関係ないやん。

春親 ……テープ買いに行くってなったら慌てるんは予想できたはずや。テープ予備さえ持ってたら起きなかった事故や。

聖子 (溜息) ……そろダンスの道が断られたんは辛かったけど、他に面白かって思えるもの見つかるまで手伝ったるからって言うてくれたから、ウチは事故から一步踏み出せたんよ。せやのに、何で事故の日に戻してくれとか言うんよ。

春親 ……いや、言うてへん。……何で急に事故の話とかしだしたんや。

石川、二人の会話を邪魔することを申し訳ないといった手振りです。部屋に入ってくる。

聖子 石川さん？

石川 (聖子が春親にくっついてきていることについて) あ、いいです、気になさらずに。服着て来るとどうしても遅くなりますね。

聖子 え？

石川 先程の女性呼んでもらえました？

春親 ？

聖子 ？

石川 今、時間戻る直前に先程の女性が高遠さんのことを知ってるて……。

聖子 ……石川さん？

石川 え？

聖子 ……？

石川 ……あの。え？ 先程の女性って？

聖子 ……もしかして、……覚えてないんですか？

石川 ……え？

聖子 さっきいぶきさん来たやないですか。

石川 え？

聖子 さっき湯木といぶきさんが来て、脚本、店のFAXに送ってってやったやないですか？

石川 ちょっと待って下さい。ちょっと待って下さい。

石川 え？

聖子 ……そんな……。

石川 僕が？ FAXって？

聖子 せやから高遠さんに連絡とってもらって、(涙が零れるのを抑えられない)店のFAXに脚本送ってもらって、そしたら、二人が来て、裏拳で殴ったとか言うてて、で脚本見せて！ ってやったや

いですか！

ちょっと待って下さい。……僕が覚えてないって
ことですか？

宮脇戻って来る。

……。

……嘘でしょ？

……。

え？ つまり僕は……、十八回目を二回やってるっ
てことですか？

何の話？ どしてん、聖子。(石川を) 誰？

失意の聖子。

石川 僕だけ抜け出せたってことですか？ 僕、今、時
間戻ってすぐに「ぐっと飲めよ」って言われて、
ぐっと飲んでから来たんです。で、僕が忘れてし
まってる一つ前の十分間でも同じようにミッショ
ンを果たしてると思うんで、それで抜け出せたん
かも。え？ でも聖子さんクリアしたのに、抜け
出せてないんですよね？ あ(傷つけた)。

聖子、顔をぐしゃぐしゃにして再び泣き出しそう。

え？

石川 いや、えっと、聖子さんのミッションが違うって
可能性はないですか？ 例えば、春親さんの言葉
より一瞬早く他の客の声が聞こえてるとか。

聖子

これって、……ウチだけ置いてきぼり、ってこと
ですよね……。

春親

聖子？

何か上手いかわかりませんね。

石川

聖子さん……。

春親

(聖子を泣かせた石川を訝しく) 聖子の知り合い
ですか？

石川

聖子さんのマイミク、マイミク？ マイミクの石
川って言います。

春親

はあ……。

石川

聖子さん、さっき話してた事故っていうのは……。

春親

ああ。……いや、聖子……、バスに接触して……。

聖子

……。

石川

そうでしたか。……もしかしてブタタローさんっ
て人もその事故で？

春親

え、ブタタローを知ってるんですか？ いえいえ、
ブタタローはその事故やなくて。……あいつ、行
方不明ですよ。

石川

行方不明？

春親

テレビに影響されてヒッチハイクで世界中を旅し
てて、アマゾン川でバタフライをするって情報を
最後に。

石川

ちょっと待って下さい！ それあの、まんま僕の

弟のことみたいなんですけど。

聖子

……え？

ウチの弟も大学卒業前に旅行先で消息不明になったんですよ。南米で！ 皆さんの大学って何処ですか？

春親

内芸です。内代国際芸術大学。

石川

野江内代の内代ですか？

春親

野江内代の内代です！ ええ？ 弟さん映研に？ それはちょっとわからないです。いろいろしてみたいでしたし、弟大学行ってからは殆ど連絡取ってなかったんです。

石川

あ、これ。

春親

あ、これ。

春親、映研のアルバムを石川に見せる。

石川

あ、ケンです！

春親

ケン？

石川

ブタタロー。

春親

ブタタロー！

石川

じゃあ、弟のおった映研の？

春親

ブタタローのお兄さん？ え？ 聖子とお兄さん

とどうい関係？ どんなきっかけで知り合いに？

前から知り合いやったんですか？

石川

いや、それが。

春親

さっき話してたんですけど。ブタタローの脚本を

読みたいと思って、けど全部捨てられてたんですよ。

石川

聖子さん、脚本ってあったんですよね？

聖子

……。

石川

……ブタタローの脚本は、捨てられる前に持って

春親

帰った人がいて。

春親

(嬉しく) そうなん？ え？

手島

手島登場。手には封筒。

手島

おう。

春親

遅いー。

手島

いや、来る途中急に前がどっちかわからんようになって。

春親

そっかそっか。

手島

そっかそっか？

宮脇

ちよっと。何で二人服一緒なんですか！

春親

うわ！

手島

嘘やん何これ！

春親

下も!? え？ イオン!?

手島

イオン！

春親

無印の隣の(店で)!!

手島

無印の隣の！ マネキンがー

春親・手島

着てた奴！

手島

凄いなこれ！ これ、マネキンが着てたこれ(シヤ

春親 ツ）とこれ（ズボン）がカブるんは可能性なきに
しもあらずやけどさ、何で靴下まで一緒やねん！
あり得へんわ！

手島 この人は？

春親 ブタタローのお兄さん。

手島 エエエエ！ ブタタローのお兄さん？

石川 ホンマにブタタローって言われてたんですね。

春親 ホンマね、ブタタローはアホですよ。何がバタフ

ライやホンマ。すいませんねお兄さんの前で。

石川 いやいや言うたって下さい。（アルバムを見なが
ら）これ、ケンエラい顔やな。

春親 それ残念会の時のですね。

石川 残念会？

春親 ブタタローの台本が選考会に落ちた日の夜飲み
行って。

石川 へえ、いいですね、そういうの。「いつかみんな
でこの映画撮ろうぜ」？

聖子、アルバムを手取る。

手島 結局ブタタローは自分がブタタローって呼ばれて
ること気づかず仕舞いやったなあ。

石川 あ、陰で呼んでたんですね。

聖子 石川さん！ ミッションって声で言われるとは限
らない？

石川 ああ、まあそれはあるかも知れないですね。

聖子 例えば文字とか？

石川 文字？

聖子 ウチ、毎回繰り返し最初の瞬間、この写真の映

画撮ろうぜって文字を見てました。春親に脚本探
してって言われるより早く。

石川 え？

聖子 せやから、春親の言葉がミッションやと思ってた

けど、せやなくて！ それを聞き終えるより前に
このアルバムの文字を毎回見てたんですね！ 起

きた瞬間すぐに！ こっちが、この文字の方がホ
ンマのミッションかも！

聖子、頭痛。

石川、痛みが来ないことに何か思ったことを言う。

聖子 石川さん、次来るとき……、あ、いえ。

石川 すいません。でも絶対超えられると思います。

聖子さん。未来で待ってます。

聖子、倒れ、時間が巻き戻る。暗転。

エピソード10

聖子、テープルに突っ伏した状態。手にはアルバム。

春親、煙草の箱を取り出すが、空箱。

春親

ブタタローの脚本捨てられたってなかったら、めっちゃ読みたくなってきた。(煙草) ないわ。誰かコピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。

聖子

やっぱりそうや。この言葉より文字の方が先や。

何で気づかんかったんや。……チカちゃん、映画撮りたい。みんなでもっかい。

春親

え？ ああ、って書いてるなあ。

聖子

どうやったら映画撮れる？

春親

俺に言われても。みんな来てから話してみたら？
チカちゃん、この店、客にバニーガールの格好をさせる店の隣やねん。

春親の携帯のバイブが鳴る。

春親

おう。(電話) もしもし。……お疲れさん。

店長、灰皿交換に来る。

店長

失礼しまーす。

聖子

すいません。メビウス一箱。

春親

メビウスですね。ちょっとお待ち下さい。(去る)
……今？ 聖子と宮脇が来てる。もう駅着いた？

店長

バニーの店行ったやろ。その隣の店やねん。エベ、エレベーターがあるから。出て左っかわ。四階の

「ボレロ」。……ああ、聖子の名前で。おう待ってるわ。あ、手島手島手島。

店長、煙草を持って来る。

店長

はい、これですかね。

聖子

ありがとうございます。

店長、去る。

聖子

はい(春親に煙草を渡す)。

春親

……おう待ってるわ。(電話を切る) おう、気い

利くやん。手島、もうすぐ来るって。

石川

石川、やって来る。

春親

服着て来るとどうしても遅くなりますね。先程の女性呼んでもらえました？ あの、春親さんです

聖子

よね。ちょっと聖子さんと大事な話が。

石川

いや、いいんです。

聖子

え？ あ。

石川

石川さん。わかったんです。

聖子

？

石川

石川さんなら理解できると思うんですけど、石川さん、十八回目ですよ。

石川

はい。

聖子

ウチは二十回目です。

石川

え？

聖子

石川さんは抜け出したんです。

石川

え？ どういうことですか？

春親

ん？

聖子

ぐっと飲みましたよね。

石川 ぐっと飲みました。

聖子 それで石川さんは抜け出したんですけど、ウチはまだなんです。

石川 じゃあ脚本はまだ……。

聖子 脚本は見つかったんです。

石川 見つかったんですか？ ホンマですか？ すいません。ちょっと混乱してます。つまり僕は……、十八回目を二回――

聖子 三回目です。

石川 三回目……。脚本見つかったのに、聖子さんは抜け出せなかったんですか？

聖子 はい。でも石川さんの言うてた別のミッションかもしれないのが見つかったんです。さっきも言うたんですけど、ウチ、毎回繰り返し最初の瞬間、この写真の「いつかみんなでこの映画撮ろうぜ」って文字を見てたんです。春親に脚本探してって言われるより早く。起きた瞬間すぐに！ 声かと思ったら文字でミッション出されてたんです。

石川 おお。そうですか。（春親に）春親さん、映画好きなんですよ。

石川 石川さん石川さん。え？

聖子 あの、駄目なんです。こいつらこっちが積極的に

言うたら引いたり茶化したり、やる気なくしたりして駄目なんです。

春親 そういうこと言うなよ。

聖子 アシストに徹しないと。それだけが繰り返しの中で得たことです。

石川 成程。何て面倒くさい。

春親 聖子、この人は。

聖子 石川さん。

石川 石川です。

春親 山下春親です。……いや何の人か……。

宮脇 宮脇が店長に連れられて戻って来る。

店長 こちらですか。

宮脇 あ、すいません。迷って。トイレ使われてました。

春親 誰？

春親 やろ？

手島 手島到着。手には封筒。春親と同じ服のデザイン。

手島 湯木も遅れて現れる。

手島 おう。

春親 遅いー。

手島 ……いや、来る途中急に前がどっちかわからんようになって。

春親 そっかそっか。

手島 そっかそっか？

春親 湯木やん！ どうしたん！?

手島 いや偶然下で会うて。

春親、手島に驚いた風に見えて実は湯木の登場に驚いていた。湯木、顔が赤い。直前に転んで痛そう。

宮脇 ちよっと。何で二人ー

石川 今から十分間、この二人の服が一緒やって話題に一切触れずいたら今日全員分の会計奢ります！
理由は聞かないで！

手島と春親と湯木、ハイレベルな「触れない」を開始。

宮脇 今日ってこんだけですか？

手島 米さんがこれたら来るって言うてたけど。

春親 米さん来るん？

聖子 しまった。これやとあの子来おへんねや。

湯木 何、今日って同窓会？

春親 うん。ほんなら始めとこか。すいまーん。

店長声 はい。

春親 湯木と一緒にやったん？

手島 下でさ、ガッシャーンって音がしてさ、思いつき

りこけてる人がおってさ、よう見たら湯木でさ。

春親 そうなんや。

湯木 痛ててて。

聖子 湯木のスマホいいな。

湯木 昨日変えてん。

聖子 へえ、貸して。

聖子、湯木のスマホを取り、電話を掛ける。

聖子 ……もしもし突然すいません。私湯木の大学の同期の大橋聖子といます。

湯木 ちょ、何掛けてんねん。誰に掛けてんのそれ。

聖子 声聞こえました？ 今、湯木が一緒にいまして。

ボレロって店にいます。さっきまでいましたよね。まだ近くにいますか？ いぶきさんとどうしてもお話したくて。

湯木、スマホを奪う。

湯木 あ、ごめん。酔っ払ってるみたい。……え？ い

やいやいいで。

聖子 お願い！

湯木 マジで？ いや俺は全然いいけど。あ、うん。はい、ごめんな。(電話を切る) 何やってんねん。

聖子。

手島 え？ 誰が来るん？

春親 これは何の集まりになったん？

湯木 これって同窓会？

石川 (アルバムを見続けながら) 同窓会、みたいなも

んですよ。

湯木 何で俺呼ばれてないん？

聖子 湯木、いぶきさん、席に帽子を忘れて来たって。

湯木 え？ 言うてたん？

聖子 (ボソ) 言うてないけど……。

湯木、元の席へ。

当然の様に中央に座っている石川。

手島 ていうか紹介してよ。異様やん。

聖子 ブタタローのお兄さん。

一同 ええ!?

石川 (空気を読んで聖子の嘘に乗っかる感じで) はじめまして。ブタタローがお世話になってました。

手島 ブタタローのお兄さん？

春親 聖子と知り合いやったんですか？

石川 そうなんです。

宮脇 初めまして。

春親 ブタタローの写真です。

石川 弟も生きてたら今頃ここに……、え？ これ僕の

弟なんですけど！ これ僕の弟なんですけど！

皆さんって内芸の？ ケンの同期の？

春親 ケン？

聖子 ブタタロー(IIケンです)。

石川 ブタタロー！

春親 (テンション高いな)？ ブタタロー亡くなった

んですか？

石川 え？

春親 アマゾン川でバタフライをしに行ったのを最後に

行方不明なのは聞いてたんですけど。

石川 あ、いえ行方不明です！ ん？ あー(理解)。

湯木、帽子をいぶきの持って戻って来る。遅れていぶきも来る。

いぶき 監督。

湯木 これ。

いぶき え？ あ、ありがとうございます。

宮脇 塔矢いぶき？ 何で？

いぶき さっきまで監督と一緒に飲んでたんですですよ。

電話で呼んでいたでいて。いいですか、お邪魔して。

春親 どうぞどうぞ！

宮脇 すいませーん。

店長声 はーい。

湯木 (いぶきに) ごめんな。

いぶき いえ。湯木さんの大学時代のお仲間さんなんです

よね？

湯木 そやねん。

いぶき ブタタローとか聞こえましたけど。あれですよ、ね、

映画村で監督と皆さん勝手に映画撮ってめっちゃ怒られたって。

手島 あれ？ あん時、湯木おらんかったよな？

湯木 いやあの。

春親 さもいたかのように。

湯木、いぶぎには当事者のごとく武勇伝的に語って
いたので、気まずい。

いぶぎ ? 映研さんのことは監督からいろいろと聞いて

ます。お酒飲むと何か大学時代にやりたかったけ
どできへんかった脚本があるからそれやりたいっ
て。

春親 おー。

ああ、いや、うん。……そういう感じやねんけど、
いやでもみんな仕事もあるしさ。

春親 みんな言うねん。またやりたいなあとか。酒入っ
てる時は。ほんでやるんやったらマジでやろうやっ
て言うたら、ちょっと無理やわって大体言うねん。

湯木 俺、マジやって。

春親 ホンマかあ？

湯木 ホンマやって。

春親 マジで？

店長、登場。

店長 (湯木に) 増えたね。広いとこ空いたら移動でき
るようにしよっか？

手島 やるんやったら、自主制作の映画祭があるからそ

れに出したらええん違う？ 誰もやらんかなって
思ってたけど。

聖子 やりたい。湯木は？

湯木 やるか？

聖子 春親も？

春親 聖子やるんならやるで。手島は？

手島 俺もいけるけど。

湯木 おー。

宮脇 僕も聞いて下さい。僕も。

湯木 自主制作かあ。

宮脇 誰が監督やるんですか？

手島 監督って連絡先とか出せる人の方がええん違う？

湯木 俺、別に出してもええけど。

春親 やっぱ監督は春親やろ。

湯木 俺？

春親 いける？

手島 ……おう。……カメラどうする？

春親 俺こないだドローンも買うて、結構カメラ勉強し
てるねん。米さんの結婚式のビデオも頼まれて。

(家庭用ハンディカメラのマイム)

湯木も撮ってるやんな？

春親 たまに職場の持って帰って遊んでるで。(業務用

カメラのマイム)

春親 手島は？

手島 いや最近カメラ勉強してて。(家庭用)

湯木 おう。(業務用)

春親 ……湯木やな。

湯木 おう。役者どうする？

手島 俺今、ボイトレー

湯木 聖子は？

宮脇 聖子さんと言えばサンドウィッチの人でしょ？

聖子 いや、ウチ、この機会にちょっと本気で助監督の

仕事覚えてみたくて。

春親 ほう。

湯木 役者は言うたら出てくれそうな子何人かおるけど

な。

宮脇 それってプロってことですか？

湯木 タマゴな？ タマゴ。

春親 あとはほんな金か。

…俺出せるで。

手島 頼むわ。ほな、手島、応募もしといて。

…おう。

宮脇 脚本は？

聖子 ブタタローの『リテイク』。

湯木 せやろ！ まだ部屋にあるん違う？

春親 いや、捨てられてた。

湯木 マジで？

聖子 『リテイク』どっかになんかあ。『リテイク』

どっかになんかあ。

いぶき 『リテイク』？ あれ？ どっかで。

湯木 どしたん？

いぶき ……あ！

いぶき、スマホを調べる。

湯木 どしたんいぶき。

いぶき その脚本って確か、私データで持ってるかも。

宮脇 ええ？

湯木 え？ 何で？

いぶき 面白いから読んでみてって、前に友達が。

聖子 (友達) ……。

いぶき これ…。

湯木 ちょっと見して(スマホを借りる)。

春親 十五年越しか。

湯木 わーこれや！

いぶき えー監督がやりたかったのって、これやったんで

すか？

宮脇 わー何これ鳥肌立って来た。何この偶然。これ何

か起きてるやろ。うわ、タイムリー…やなあ。

聖子 惜しい。

石川 これはやるしかないでしょ。

湯木 せやせや居酒屋が舞台で。どっか撮影で貸してく

れる居酒屋ないかなあ（わざと）。

店長 前もって言うてくれたらね。その代わりあれやで、
店の宣伝してや。

宮脇 あざーす！

何ですっとおるんかなって。

店長 だいぶ前に呼ばれたんです。

宮脇 あ、忘れてた。いぶきさん、何飲みます？

いぶき あ、じゃあ生で。

宮脇 生の人。

拳手。

宮脇 生……七つ。

店長 あーはい。

店長、去る。

春親 え、ちょっと待って、ホンマにやるの？ ノリで

言うてもうたけど。

湯木 酒の席やしなあ。

石川 いやいやいや！

聖子 めっちゃ盛り上がってたやん！

湯木 仕事もあるし。

石川 やりましょうよ。

宮脇 まーやらんでもこういう話するだけでも楽しいし。

石川 いやいや！

手島 金出すだけやし。

湯木 久々にみんなに会えてよかった。

聖子 何で話まじめようとしてんの！

春親 ホンマに応募したら取り返しつかんわな。

いぶき えー湯木さんやったらええのに。

湯木 じゃあいぶき出る？

いぶき え？ いいんですか？ そんなん私めっちゃ出た

春親 お！

いぶき 事務所には確認せなアレですけど。湯木さんのやっ

たら多分。

宮脇 じゃあ僕もやります。

いぶき 湯木さん。

湯木 やったら俺も全然やってもいい。

春親 ブタタローのためにも。

いぶき それ応募いつまでなんですか。

宮脇 今日の九時までって。

聖子 ほらやっぱりこれや！

石川 聖子さん！

宮脇 どしたんですか聖子さん。

聖子 早よ電話して！

手島 何で電話せなあかんねん。

聖子 手島！

手島 どうせ金出すだけやし。

石川 (よっ) スポンサー!

春親 いやエグゼクティブプロデューサー! 製作総指揮!

手島 (嬉しそうに) ええ?

手島、立ち上がる。拍手が起こる。オリンピックの陸上選手を真似て手拍子を求める。手拍子で「てしまコール」が起こる。スマホをみんなに見せる手島。チラシを見ながら電話する。

手島 あもしもしい? こないだ電話した手島です。お世話になってますー。こないだはどうも。教えてくれた店に友達連れて行きましたよ。バニーガールの、ドン引きでした。なはははは!

聖子 早よ!

手島 あの、映画祭の話なんですけど。あれまだいけます? はい。はい。あ、じゃあそれでよろしくお願ひします。今、出先なんですまたほな詳しいお話し。はいはいどうも。

手島、電話を切る。

湯木 マジで電話したで。

春親 これでもう引き下がれへんで。

手島 九時過ぎたけどOKやて。

石川も腕時計を確認。

石川 !? 聖子さん。

聖子、時計を確認する。九時を回っている。

聖子 あ。

繰り返してから抜け出して安堵。

聖子 超えた。

石川 おおお。聖子さん!

聖子 ああ……(ぐじゅぐじゅの顔)。

石川 おおおおお!

エピソード

米村登場。

春親 おお、米さん。

宮脇 米村さん。

手島 とくに店着いてると思ったのに。

春親 何かへろへろですけど。

米村 いや、とくに店着いてただけで、トイレ行ったらうんちが何時間も止まらなくて。

湯木 腹調子悪いん?

米村 下痢じゃないよ。正常なうんちが何時間も出続け

たの!

春親 手島の遅刻の言い訳よりひどいな。

米村 マジだって! おそらくだよ。おそらく。俺の体

積を超えたうんちが出たんだよ。この怖さわかるか？ で、十分ごとくらしいに凄い腹痛が来てさ。

トイレいたの米村さんやっただんですか。

おまえかよ。何回も何回もノックしてきたの。

店長、ビールを持って登場。

店長 はい生です！

春親 来た。

宮脇 すいません。生もうひとつ。

店長 了解です。

湯木 え、コースする？

店長 コースいきますか？

手島 今日、お兄さんの奢りなんですすよね。

石川 あしまった。

湯木 ほな単品で。

石川 要らんこと言うた。

湯木 じゃあ刺身十種盛り。

店長 刺身十種盛りを？

湯木 八つ。

店長 八つ。

石川 いやいや！

手島 『じゅっぱひとからげ』ってどんなん？

店長 十羽の鳥をひとつの唐揚げにしています。

手島 じゃあそれ。

店長 じゅっぱひとからげをおひとつ。

手島 八つ。

店長 あ、八つ。

石川 八十羽来るから！

春親 取りあえずそれで。

店長 取りあえずそれで、を？

春親 八つ。

店長 八つ。

石川 以上で！ 以上で！

店長 はいかしこまりました。

店長、去る。

春親 ほな改めて乾杯しよっか。はいじゃあ米さん。

米村 えー。何で俺なんかわかりませんが、それでは再

会を祝して、かんぱーい。

一同 かんぱーい！

湯木 (思い出したように聖子に) あ、誕生日おめでと

う！

春親 (思い出したように米村に) あ、結婚おめでと！

それぞれに飲む。ビールを飲むと口の中を怪我して

いて渗みる湯木。

湯木 ったあ。

春親 どないしたん、それ(擦り傷)。

手島 さっきの自転車？

湯木 うん。

手島 湯木あれ、自転車追いかけてようとしてなかった？
湯木 せや、その話やねんけど。俺さっきブタタロー見た。
た。

聖子 え？

手島 もしかしてあの自転車の？

湯木 うん。手島、顔見た？

手島 いや。……？ マジで？

湯木 うん。

石川 ホンマにケンやったんですか？

湯木 ケン？

春親 さっき湯木おらんかったっけ？ 石川さんってブ

タタローのお兄さんやて。

湯木 えええ？ ホンマですか？ どうもはじめまして。

石川 あ、はじめまして。でもケンなら、湯木さんのこ

と見たらわかるでしょ？

湯木 それが気づいてない風やって。

春親 でもあいつ、目え悪いやん。

聖子 ……本人ってこと？

春親 湯木、何で追いかけてへんねん！

湯木 だって、手島が声掛けてきたから。

春親 手島あ！

手島 何でや。

石川 どっちに行きました？

湯木 駅の方に自転車で。

聖子 吉野家にいる！

ダッシュで出て行く手島、春親、宮脇、石川、湯木、

いぶき、米村。

ひとり残る聖子。春親だけ戻ってくる。

春親 あ、せや、これ。

春親、鞆からプレゼントを出す。

春親 誕生日やろ。

春親（春親が喜びそうな驚きで）え？ 覚えててくれ

たん？ やーん。熊のぬいぐるみ！ ありがとうお！

春親 はは。

春親の目を盗んで溜息ついている聖子。

終わり。

中野 守



1973年、奈良県生まれ。

1992年、龍谷大学劇団未踏座で演劇を始め、大学卒業後も印刷会社に勤めながら演劇活動続ける。

1998年、『振替平日』で早稲田大学演劇博物館創立70周年記念戯曲賞入選。

2003年、京都で中野劇団を旗揚。全公演の脚本・演出を担当。

現在も京都・大阪で活動中。

選 評

審査結果

大賞

「動く物」

本橋

龍（東京都）

優秀賞

「10分間〜タイムリープがとまらない〜」

中野

守（兵庫県）

審査員

長田育恵（演劇ユニットてがみ座主宰）

斎藤 歩（公益財団法人北海道演劇財団常務理事・芸術監督）

土田英生（MONO代表）

畑澤聖悟（劇団「渡辺源四郎商店」主宰）

前田司郎（五反田団主宰）

※第1次審査通過作品（作品名50音順）

「動く物」	本橋	龍（東京都）
「鱗の宿」	島田佳代	（鹿児島）
「サウンズ・オブ・サイレンシーズ」	弦巻啓太	（北海道）
「些細なうた」	田坂哲郎	（福岡県）
「10分間〜タイムリープがとまらない〜」	中野	守（兵庫県）
「鶴吉印章堂〜畑山さんの印〜」	田邊克彦	（青森県）
「中ノ嶋ライト」	滝本祥生	（東京都）
「西のメリーゴーランド」	川口大樹	（福岡県）
「南の国から」	大迫旭洋	（宮崎県）
「メゾン・ド・ユー」	荒木建策	（東京都）
「Replace Grace」	木村恵美子	（埼玉県）

長田育恵

(演劇ユニットてがみ座主宰)

本年も審査会のため審査員たちが北海道に集った。早朝から天候による欠航や遅延が相次ぎ、全員が集えたのは20時頃だったと思う。同じメンバーで集う4回目の審査会。今年には全員がある予感を秘めて集っていた。果たしてそれは現実となり、本年は大賞作が決定。大賞が出たのは第1回以来だ。劇中から匂い立つ皮膚感覚や五感のようなものと同じ作家として羨ましく思う、そうした作品と出会えて幸せだった。

『10分間くタイムリープが止まらない』細かく考えられたプロット、随所に配置されたアイディア、飽きさせないストーリーテリング。その完成度に賞賛の思いが湧くが、ストーリーを抜けた先に待つあっけなさに惜しいと感じた。ストーリーが強力な分、その力を借りて人物の息吹にもっと触れたい。遠くに辿り着きたい。読んでいて欲深くなってしまう。

『鱗の宿』読後に思い出せる景色がある。世界観が立ち上がっていた。けれど中心にいる人間の内側に「今、触れられた」と感じる箇所が弱く物足らなかった。閉塞感のある島を舞台に人魚をモチーフに使っているが、島から想起される日本の土着的な八百比丘尼像と西洋の人魚姫像とイ

メージがばらけ薄れてしまったように思う。前の応募作が魅力的だっただけに、もっと降り立つことの出来る作者だと感じる。

『鶴吉印章堂く畑山さんの印』ハンコを象徴に、人生の岐路を切り取るうとした着眼に心惹かれた。会話もうまく、手堅く纏められてる。けれど登場人物たちに作者の都合が見えていて、人物間に流れるものにもっと繊細さや豊かさが必要だった。

『サウンス・オブ・サイレンシズ』構造は面白かったが人物造形が典型的で興味を持てなかった。ここから作者のオリジナリティを發揮して欲しいという肝心の地点から描写されず、踏み込まれない。アウトラインを受け取るところで終わってしまった。

『動く物』最も奇妙で、喉の内側から痛がゆく触られているような、飲み込みがたい読後感。二人の生活が空気が流れ続けるまま描写される中で、菓子子の缶に捨てられた無数の精子、墮ろした子供、根底に潜む喪失感がじわりと迫る。その奥に生物としての人間を含めた生態系の気配がうっそりと立ち上がってくるのには、ぞくぞくした。ただ、これは私の我が儘かもしれないけど、『星の王子さま』を材料に使用されたのが勿体ないと感じた。せっかくオリジナリティある世界観に満ちる五感が、手垢のついたコンテンツに手練り寄せられることで、急速に鈍るような。私には

この素材が逆に作品を繋ぎ止める軀くびきに感じられてしまった。
『中ノ嶋ライト』舞台設定の着眼もストーリーもとても興味深く、大きな期待感を持って読み始めた。が、その設えに強度がある分、かえって登場人物の弱さが目立った。関係性は提示されているのだが、人物の内面をあぶり出すストロークが足りていない感触。もっと人物描写を見たいと思った。

『南の国から』戯曲から感じられるおらかさ、柔らかな詩心が好きだった。この作品は神話の世界と現実をリンクさせる試みで書かれているけれど、神話部分がダイジェスト紹介に留まっていて現実世界にのびきならない作用を及ぼしてはいない。伸びやかな言葉からは作者の良さが心地よく伝わってくる。ここからより力強い作品を生み出してほしい。

『Replace Grace』現代的で興味深い分野を、登場人物の皮膚感覚を伴う台詞で描き出していることにとても好感を持った。作者がどの人物にもある距離を保ちながらドライに描き出している視点にも共感。根本にリアリティも感じた。エンドマークまで行き着いて、続きがあればと願った。フィクションの力を借りたのだから、サンプル開示を踏み越えて、作者自身の意志や未来をどう見通しているか、その先にもっと触れたいと。

『メゾン・ド・ユー』演劇における面白さをどこに求め

るか。感性はむろん作者それぞれなので、圧倒し説得して欲しかった。人物がキャラクター化されすぎていてダブつきや既視感をもたらし、新たな登場人物ほど新鮮さが薄れてしまった。物語の疾走感は印象的。

『些細なうた』実在の歌人の50作近い短歌群が作品の大きな魅力になっている。戯曲は、その優れた素材を自分の世界観へうまく纏め上げていたと思う。シンプルなストーリー軸でありながら、構成の工夫、語感やリズム感で鮮やかに彩られている。現実と抽象世界のリンクの仕方も推進力があった。企画前提の作品として見ると大満足なのだが、戯曲賞という観点からすると、素材の力が大きすぎた。個人的にはとても好きな作品。

『西のメリーゴランド』筋を追うことが主眼となっていて、それを通して何を見せたいのか、どこに着きたいのか、大きな企みがない。家族や輪廻、生死観など材料は点在するのだが一過性で浅いのが残念。表層の笑いや涙の奥を追求してほしかった。実際の上演ではきっと面白く立ち上がるのだろう、登場人物全員に作者の愛が注がれていたから。

斎藤 歩

(公益財団法人北海道演劇財団常務理事・芸術監督)

『動く物』一番面白かった。面白いのだが…星の王子様を引用しているのだが、引用するための仕掛けが弱く感じた。二人芝居で、この引用によって、二人の俳優が別の側面を見せてくれる可能性を期待はできるのだが。ジャガイモを薄暗い所で発芽させたことがあるので、あの衝撃は共感できた。人間も動物で…みたいなことだと思うのだが、若い世代の不安定さをどのように舞台化するのか、一番興味を持ってた作品。

『鱗の宿』今回の中では好きな戯曲だった。全編通して気になるのが陽という高校生の饒舌さ。陽が語るいくつかのことが唐突に感じてしまう。素振りとか。芳井の鱗を盗む動機にもやや無理を感じる。家の外で次々に起こる割と激しい事と、石渡の家の中の平穏さのアンバランスさはいいのだが、その当事者が登場しないことが多く、語られることだけで、ちょっと物足りない。人魚堂という洞窟の構造も想像するだけであまりちゃんと語られていない気がして、「水が沁み出している」と言われたり、「島が沈む」という感覚が、もう少し具体的にイメージできないのかと感じる。「人魚の子ども」のお話が、「秘密をしまう箱」に繋がるのがスッ腑に落ちないのが残念。

『サウンス・オブ・サイレンシース』幼稚だと感じた。

大人の男女の悩みを描くには幼い。人物がいずれもステレオタイプで「キャラ」という設定で描かれている気がして会話がつまらない。こういう設定やプロット思いつくのであれば、会話をもっと大人の会話にしなければならぬのではないか。どの人物も物語の流れを説明する会話しかない。涉が姉と関係を持ったことが無理に感じて、大人を描けばそれが無いのだが、そもそも、設定とかプロットだけで客を裏切ろうとする、まるでRPGを構想するかのよう

に演劇を描き、登場人物を「キャラ分け」しているからではないだろうか？

『些細なうた』何故ラジオドラマを書く劇作家との二重構造が必要なのか？ ヒントを得た解決結果が31文字だというのがあまりにスッキリせず、「サイト」とか「↓」とか言う登場者の扱いも、いつの間にか現れなくなったり一貫しない。引き籠る男の外への挑戦物語なのだろうが…笹井さんの短歌がいずれもいいのだから、もっと違う物語にした方が良かったのではないかと、感じてしまった。

『10分間〜タイムリープが止まらない〜』つい笑いながら読み進めてしまった。滑稽でおかしくて、気の毒で、笑ってしまったのだが、どこか都合が良すぎて、完全に気持ち預けられなかった。結局みんなで仲良く映画を撮ろうという良さげなお話で、結果的に物足りなかった。それにし

ても、ちょっと笑った。

『鶴吉印章堂く畑山さんの印く』登場人物が皆饒舌過ぎて、舞台上で喋り続ける強迫観念でもあるのだろうか？

普段こんなに喋らないなどと言わせながら、喋らせていることの無理を感じる。判子屋という仕事、離婚を決意した女、この設定だけで、そこからさほど広がりがなく残念。女房と主人の関係も薄っぺら。何で判子を忘れたのか、それが離婚届なのかと期待もしたが、違っていたようだ。ちょっと好きなんだけど。

『中ノ嶋ライト』無理がある。男女関係のもつれと解決に必然性を感じられない。対立だけが目的なのではないか？白熱電球のことを懐かしむムードだけで、先が読めてしまい、つまらない。なぜ主人公は47歳の教師でなければならぬのだろうか？

『西のメリーゴーランド』他の作品のいくつかにも感じるので、どうしてこども笑ってもらおうとするのか？生死を設定で遊ぶRPG的な作品だと感じた。そのくせにありふれたアットホームさや一般論としての家族像を嵌め込み、共感を得ようとしているようで、ウェルメードには至らない。

『南の国から』神話という者に対する畏れや、疑いなど、検証もなくただそれらをダイジェストにしているものは、現代演劇として成立しないのではないか。「北の国から」

という有名ドラマとの対比というセンスや、設定、セリフなどレベルが低い。兄と先生が結婚したことで引き籠ってしまう妹など、リアリティに欠けることが多く、辛かった。『メゾン・ド・ユー』『キョドリながら』『腐女子風』というト書きの意味が私にはわからず、世代の違いを感じた。危機回避能力とか、人を能力で測るあたりなど、やはりこれもキャラで描くRPG的。そして、偶然が多すぎる都合のよさ。結局はいいお話にまとまって、現状肯定をして観客も安心して家路に着くというわけなのだろうか。

『Replace Grace』科学・医学そして倫理のような話だが、人物を描くことより、観念というか論文のようで、演劇として面白みがない。異なる意見の対立もあるようではない。問題提起にもなっていない。予定調和的な対立のみで浅い。

土田英生

(MONO代表)

.....
本橋さんの『動く物』が大賞になった。おめでとうございます。昨年、一昨年と大賞が出ていない状況だったのでその結果に胸を撫でおろした。さらには今年も雪のために審査員たちがなかなか札幌に集まらず、結局は何時間も遅れての開催だった。それでもなんとか開けてよかった。同

じ理由で審査会自体が2ヶ月もずれた昨年のことを思うと、
本当によかったと思う。

私は最初島田さんの『鱗の宿』を推した。この人の作品はこれまでに何本も読んでいて、私はいつも気になる。確かな力量もあるし、何より私は彼女の作風も含めて好きなんだと思う。ただ、もったいないのは石渡夫婦の物語が軸としてもう一つ機能し切れていないことだった。島という場所自体を描いているとするとそれも弱い気がするし、中途半端な印象を残してしまっている気がする。

『動く物』の得体の知れなさに関して私はかなり用心深かった。具象と抽象のはざままでつむがれる会話はとても魅力的だったし、出てくるエピソードには実体感もあった。ただ、時折、その世界で泳ぎきれず、作者の意図がひょこりと顔を出す瞬間が気になったのだ。後はタイトル。一周回って敢えてこれになったのだと思うが、もう少しタイトルの付けようもあったのではないかと個人的には思った。優秀賞になった中野さんの『10分間×タイムリープが止まらない』は、アイデア自体は斬新ではない。ただ、繰り返されるタイムリープの中で、主人公や周囲の反応の差異の描き方が見事だと思った。中心となる物語の芯がもっと太ければかなり面白くなると思う。タイムリープから脱した時に、もう少し大きなカタリシスが欲しい。

審査会の過程で最後まで週上に上がり続けた田邊さんの

『鶴吉印章堂×畑山さんの印』は評価が難しかった。瑕疵も見当たらず、多分、上演を見ても普通に満足できる作品なんだと思う。ただし、その分、残るものも少ない。ドラマは時間の変容と人物の変化がカギだと考えるが、その点、そうした変化が弱い印象だった。

北海道戯曲賞に関して毎年困るのは、なぜか私が個人的に親しくしている劇作家の作品がたくさん候補に残っていることだ。今回で言えば川口さんと滝本さんは頻繁に話す間柄で、今回の候補作の上演も観ている。もちろん努めて冷静に読み審査会に臨んだ。

滝本さんの『中ノ嶋ライト』は白熱電球を作る会社が舞台になっていて、ここで起こる人間模様と、なくなっていく白熱電球がうまく絡まないのがもどかしい。内側の会話は上手にかけているのに、「環境会議」「市長」など舞台の外に広がる世界を構築できていないのが致命傷だと思う。川口さんの『西のメリーゴランド』は改めて台本で読むと、あまりに説明が多いのが気にかかる。SF的な設定にリアリティを持たせたい場合、もっと大胆に説明を省く作業が必要な気がする。コメディのセンスは確かなので、設定に凝らず、もっとシンプルな話を書いてみたいのでは……これは彼に対して常に思っていることだったりする。

田坂さんの『些細なうた』は劇中で使われている短歌が

魅力だ。ただ、これは笹井宏之さんが書いたものだ。もちろん盗作というのではなく、作者は許可も取って意図的にこの作品を書いている。タイトルに使われている「些細」というのも、笹井宏之さんが書いていたブログのタイトルだったようだ。けれど戯曲として評価することには戸惑いを感じた。

大迫さんの『南の国から』は神話を挿入するメリットが感じられなかった。神話に対する作者の距離も図りかねた。弦巻さんの『サウンス・オブ・サイレンシース』はあまりにも世界が小さい。構成には面白味を感じたものの、それだけで終わってしまった。

荒木さんの『メゾン・ド・ユー』は面白い台詞は散見されたけれど、笑いとしても弱くて苦しかった。

木村さんの『Replace Grace』は戯曲として書いていることをもう少し意識して欲しかった。場の転換があまりに都合よすぎる。どの場を切り取ったら演劇になるのかを考えて、踏ん張って書いてもらいたいと思った。

最終候補が11本ということで、今回はとても苦労した。ただ、作品の質としてはかなり高かったのではないかと思う。本橋さん、中野さん、改めておめでとうございます。

畑澤 聖 悟

(劇団「渡辺源四郎商店」主宰)

『些細なうた』が面白かった。夭折の歌人・笹井宏之の短歌を手がかりにして重層的に広がった世界が主人公の引きこもりからの脱出と作者の脱稿に収束される。言葉遊びも自由かつ豊かでぐいぐい読めた。歌人の作品世界をあの手この手で変奏してみせる手腕が見事。ただ戯曲全体の魅力より、多く引用される短歌そのものの魅力が勝っていることは否めない。評伝劇としては当然モチーフを際立たせるべきであるからこれで正解なのだが、結局面白いのは短歌だよ、という印象がどうしても残る。戯曲としてどう評価するか審査員の間で意見が分かれ、残念ながら入賞には至らなかった。

『動く物』は小さな世界を描き上げる物語。男女が脱走したペットを探索するうち6畳間が一つの生態系として立ち上がり、その中に同じ動物として取り込まれていくアイディアが面白い。台詞が抜群に巧く、独特の世界観も見事。大賞として推すのに何の躊躇も無かった。ただ終盤、構造として仕掛けてあることをわざわざ台詞で説明しているのが勿体ない。もっと放り投げてくれればいいのに。

『10分間くタイムリープが止まらない』はたたみ掛ける展開が見事。10分間という時間制限がスピード感を生ん

でいる。劇中示されるタイムリープのルールが強引でありながら腑に落ちるあたりに作者の力量を感じる。掛け合いなどの細部に強度があり、これは上演を繰り返して積み上げたものではないか。途中ウエットになりそうでならないあたりもよい。ただタイトルはもうちょっとなんとかならなかつたのか。

『鱗の宿』は手練れの作品。雰囲気を作り上げるのが抜群に巧く、閉塞した空気がびしびし伝わってくる。このコミュニティを支配する人魚のイメージが不明瞭なのが惜しい。登場人物がもっと動いて欲しいと感じた。

『鶴吉印章堂〜畑山さんの印〜』は独特の雰囲気を持つ作品。延々と続く無駄話を生き生きと描いている。欲を言えば、せつかく並べた情報を後半の展開に貢献させるような企みが欲しかった。

『サウンス・オブ・サイレンシース』。同じ場面を、主観を変えて再生するなど成が巧み。会話のリズムもよい。技術には感心するが、上手に組み立てること自体に作者の興味が注がれているように感じる。つばめの妊娠が判明した時点で終わるのは物足りない。ドラマとして見応えがあるのはこの後ではないか。

『中ノ嶋ライト』。旧技術へのノスタルジイで押すのかと思いきや、中小企業内のドラマに主眼があり、読み応えがあった。ただ、個々の人物造形にはもうひとつ深みが欲

しかった。白熱電球が無くなる事が決定的になってからのやりとりがやや長い。

『西のメリーゴーランド』はスラップスティック人情噺。楽しく読んだが、設定も展開も作者に都合良過ぎるのが残念。

『南の国から』。さわやかな語り口に好感が持てるが、現代の物語と神話の物語がいまひとつ互いに貢献していない。

『メゾン・ド・ユー』。古いコントをつなぎ合わせたような印象。一生懸命面白いことをやろうとしている事は伝わる。

『Replace Grace』。被験者同士のやりとりなどなかなかスリリングで面白い。ただ全体的に生命倫理に関する既存の議論をトレスした印象。素材のまま並べたように感じた。

前田司郎

(五反田団主宰)

前提として。僕が小説や戯曲を書くとき、五十年前の人にも五十年後の人にも外国の人にも相手が人間であれば通じるような普遍性と、技術が進歩してもAIには書けない身体性をもったものをと、心がけている。なので、審査の

際もその基準で見た。しかし、それが果たして戯曲賞の審査の基準として正しいのかどうかわからない。ただ僕は批評家でも評論家でもなく作家なので、自分の基準でしか見れないのでこれまでそうしてきたし、今年もそうした。

『メゾン・ド・ユー』伏線を上手く回収していましたが、という感じ。飽きずに読んだが、ある種の軽さだけがあって、その軽さも呆れるほど端的でなかった。どうでも良い物を書くならとことんまでどうでも良い物を書いて欲しい。それなら読みたい。

『Replace Grace』終始同じ話をしているように読めた。一側面しか描いていないから深みを感じられない。無駄が必要では？ 頭で考えて作ったように感じてしまう。身体も使って、理屈に合わないところも、思い通りに行かないところも、あった方が良いと思う。贅肉のない体のような本に感じた。贅肉がなく美しい本もあると思うが、それには詩情が必要だと思う。

『10分間×タイムリープが止まらない』このアイディア自体、新しいのか古いのかわからないが、こういうのにあまり馴染みがないから「良く出来ているなあ×タイムリープが止まらない」と思った。登場人物たちの戯画化が少し目立ちすぎたように思う。突拍子もない設定を信じさせるためには、もう少し生っぽくても良かったかと思う。

『鱗の宿』好きではないけど雰囲気がある。雰囲気だけ

になってしまっているようにも読めた。何か、作者自身の切実さのようなものが僕には見えなかった。上演のために書かれたように思える。書かねば済まされないような熱が感じられなかった、こっちの問題かも知れないが。この作品が優秀賞を獲ってもなんの文句も無いとは思ったが、積極的に推す気にはならなかった。

『鶴吉印章堂×畑山さんの印』会話が良い。好感を持って退屈せず読めた。が、人と人との接近が都合よすぎに思えた。そんな簡単に近づけるもんかなあ。四人とも人懐っこ過ぎないか？ 大事な部分を歌に仮託するようなやり方は感心しない。そりゃ歌には観客の胸座を揺る揺る揺すぶるような力がある、戯曲はもっとさりげなく客の心を揺すぶるものだと思う。せっかく会話で作ってきてそこで歌うの？ と感じた。ドキュメンタリー仕立ての青汁のCMを思い出した。演出次第なのかなあ。

『サウンズ・オブ・サイレンシズ』なんかよく出来ていたけど、会話がなあ、下手だったなあ。理屈で作ったっぽいんだよなあ。人物が物語に隷属してるとではないか。願わくは登場人物は、作者よりも偉く賢い方が良いと思う、作者の奴隷ようになってはいけないだろう。ちょっとそういう風感じてしまった。

『動く物』これを一番に推した。面白かった。対話が良い。人物に魅力を感じた。長田さんが言うように確かに引

用の部分は無くても良かったかも、しかしあっても良かったと僕は思う。もう少し長く登場人物も多い戯曲も読みたい。

『中ノ嶋ライト』電球の説明とか減らして、もっと人間関係を書けばいいのと思った。人間関係においてハッとする瞬間もあった。最後結局互いの感情を爆発させて終わらすのなんだろう？ よく見るけど。別に綺麗に終わらす必要もないんじゃないだろうか。入れ子になってる構造も必要だったのかな？ あの部分をなくせばもう少し人物を描けたのと思う。

『南の国から』よくがんばった市民劇みたい。よく出来た市民劇であったなら、もう少し高い評価が出来たかもしれない。頑張ってる感じが見えてしまったように思う。タイトルやファーストシーンで、「北の国から」のパロディであることが明示されており、それが作品自体の質を高める効果を生んでいるとは思えない。作品の格をさげていると思う。ほんとうにその小さな笑い必要だった？

『西のメリーゴランド』無理に笑わそうとするのはいらない。家族のお涙ちょうだい話が雑に思えた。こういうベタなネタは、よっぽど良く出来てないと、すでに見たことのある話に思えてしまう。

『些細なうた』短歌良かったと思ったら引用だった。会話はセンスを感じるころもある気がする。引きこもりが

希望を見出すという物語を陳腐に感じてしまった。これを陳腐に感じさせない工夫が必要だったと思う。ラジオドラマどうのが必要だったのか？ ラジオドラマどうのをなくして家族の話を膨らますべきだと思った。家族の話はもっと読みたかった。

色々思ったことを書いたが、上に書いたようなところを気にして書いたとしても、僕の趣味にあった作品にはなるかもしれないが、それぞれの作者の趣味と符号するとも限らず、僕は常々「お前ら審査員なんかより俺の方が面白い」と思って審査を受けてきたから皆さんもそうであると思うし、だからこんな選評はすぐ火にくべてしまえ。

平成29年度 希望の大地の戯曲「北海道戯曲賞」の概要

1 募集期間

平成29年7月5日（水）～9月1日（金）

2 応募作品数

122作品（昨年度117作品）

- (1) 男女別 男－87名、女－35名
- (2) 年齢別 20代－34名、30代－45名、40代－26名、50代－13名、60代－4名
- (3) 都道府県別 東京都－52名、北海道－13名、大阪府－9名、
福岡県－8名、埼玉県－6名、京都府－5名、
千葉県、兵庫県、長崎県－各3名、
神奈川県、熊本県、福島県、山口県－各2名、
青森県、秋田県、宮城県、長野県、愛知県、奈良県、和歌山県、
岡山県、高知県、大分県、宮崎県、鹿児島県－各1名

3 応募回数（平成26年度～平成29年度）

今回初－85名、過去1回－28名、過去2回－8名、過去3回－1名

4 審査会

(1) 第1次審査会

- ① 開催日 平成29年12月18日（月）
- ② 開催場所 公益財団法人北海道文化財団 会議室
- ③ 審査員 4名（氏名非公開）

応募総数122作品から第2次審査に選出する11作品を決定。

第1次審査通過作品（作品名50音順）

「動く物」	本橋 龍	（東京都）
「鱗の宿」	島田 佳代	（鹿児島）
「サウンズ・オブ・サイレンシーズ」	弦巻 啓太	（北海道）
「些細なうた」	田坂 哲郎	（福岡県）
「10分間～タイムリープが止まらない～」	中野 守	（兵庫県）
「鶴吉印章堂～畑山さんの印～」	田邊 克彦	（青森県）
「中ノ嶋ライト」	滝本 祥生	（東京都）
「西のメリーゴーランド」	川口 大樹	（福岡県）
「南の国から」	大迫 旭洋	（宮崎県）
「メゾン・ド・ユー」	荒木 建策	（東京都）
「Replace Grace」	木村 恵美子	（埼玉県）

(2) 第2次審査会

- ① 開催日 平成30年1月26日(金)
- ② 開催場所 公益財団法人北海道文化財団 会議室
- ③ 審査員
 - 長田 育恵(演劇ユニットてがみ座主宰)
 - 斎藤 歩(公益財団法人北海道演劇財団常務理事・芸術監督)
 - 土田 英生(MONO代表)
 - 畑澤 聖悟(劇団渡辺源四郎商店主宰)
 - 前田 司郎(五反田団主宰)
- ④ 審査結果
 - 大賞 「動く物」
 - 優秀賞 「10分間～タイムリープがとまらない～」

5 「動く物」リーディング公演(アートゼミ事業)

- 開催日時 平成30年3月11日(日) 14:00開演 (13:30開場)
終演後 アフタートーク実施
(出演 本橋 龍、小佐部 明広、斎藤 歩)
- 会場 シアターZOO
(札幌市中央区南11条西1丁目3-17 ファミール中島公園B1階)
- 作 本橋 龍(ウンゲツィーファ)
- 演出 小佐部 明広(クラアク芸術堂)
- 監修 斎藤 歩(公益財団法人北海道演劇財団常務理事・芸術監督)
- 出演 中村 雷太(クラアク芸術堂)
安田 せひろ
信山E紘希(クラアク芸術堂/信山プロデュース)

希望の大地の戯曲

北海道戯曲賞

平成29年度受賞作品集

発行日 平成30年3月

発行 公益財団法人北海道文化財団

〒060-0042

札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル3F

(公益財団法人北海道文化財団内)

TEL 011-272-0501/FAX 011-272-0400

印刷 中西印刷株式会社
